

文部省指定特殊教育実験学校
平成 6 年度
(最終年次)

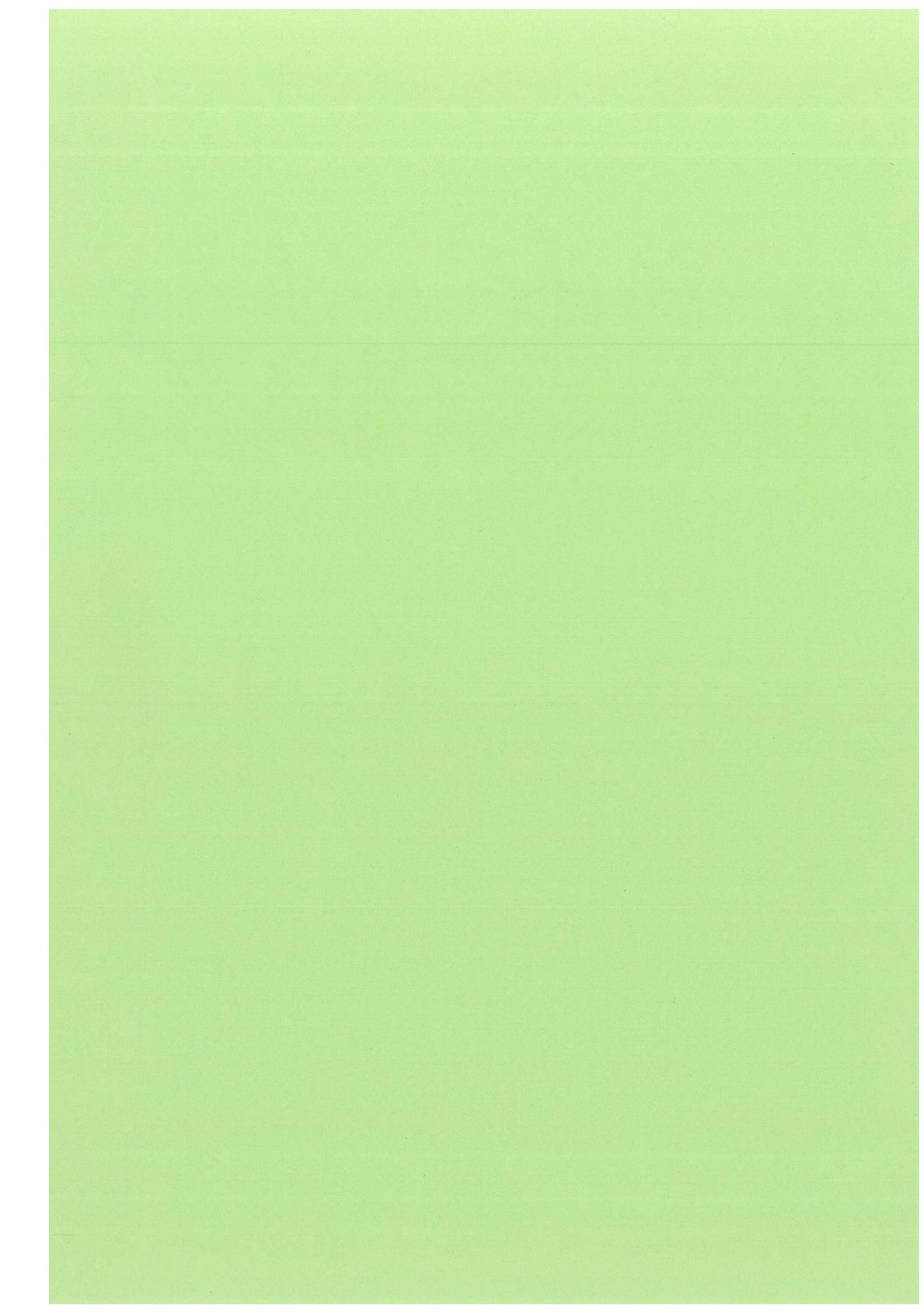
研究主題

職業自立に向けた職業教育の基礎的・基本的な教育内容について

基礎的・基本的指導事項

—— 教育課程編成資料 ——

沖縄県立 沖縄高等養護学校



基礎的・基本的指導事項について

本校は、軽度の精神薄弱者を対象に卒業後、それぞれの特性等を最大限に発揮させ、将来の社会自立、職業自立のできる人間を育成することを目指して設立された。従って、生徒は学校生活、寄宿舎生活において基本的な生活習慣の形成を図っていく上で生活に必要な基礎的な事項を定着させ、将来職業人として社会自立を目指すとともに、各教科において職業自立に向けての基礎的・基本的な知識、技能、態度についていかに定着させるかを本校の教育課題として取り組んできた。

このような課題を解決して、生徒一人一人が職業自立を確実なものにしていくための教育計画の確立が要求され、開校当初から研究テーマを設定して取り組んできた。

さらに、この研究の充実強化を図っていくために、文部省指定の「特殊教育実験学校」を平成4・5・6年度の3カ年間受けてきた。

本校の設立趣旨は職業自立できる生徒の育成であることから、研究テーマを「職業自立に向けた職業教育の基礎的・基本的な教育内容について」と設定し、日頃の教育実践や全寮制による寄宿舎生活等を通じて研究テーマを具体化していく中で、本研究テーマの実現を図るため、年次別に次の観点を踏まえ研究を推進してきた。

平成4年度（一年次）は職業自立に向けての基礎的・基本的な指導内容の研究を中心に取り組み、職業自立（就労）を目指した「基礎的・基本的指導事項」の選定については開校一年次、二年次の教育課程実施結果を踏まえ、各教科、領域等の独自性を生かし、学校教育活動及び寄宿舎生活全体を通じて、各教科、領域及び寄宿舎における日常生活の中から基本的事項を抽出することを確認し精選した。

平成5年度（二年次）は、この「基礎的・基本的指導事項」が職業自立を図る上から必要な事項であるという仮説のもとに、各教科、領域等について、年間指導計画に位置付けて日々の授業の中でその検証をしながら定着を図る指導を行ってきた。その結果、平成4年度に作成した「基礎的・基本的指導事項」については概ね適切であると捉えた。

平成6年度（最終年次）は「基礎的・基本的指導事項」が定着したかの検証を兼ねて、本校第一期卒業生の就職先にアンケート調査を実施しその結果をもとに、平成4年度に作成した「基礎的・基本的指導事項」は職業自立するのに必要な事項であると企業からの評価を受けた。

これまでの研究の成果を踏まえ、一部の事項については整理統合、加除修正を行い「基礎的・基本的指導事項」として、「職業自立に向けた職業教育の基礎的・基本的な教育内容」をまとめた。

目 次

I 各教科

1 国 語	1
2 社 会	4
3 数 学	9
4 理 科	14
5 音 楽	19
6 保 健 体 育	22
7 職 業	
(1) 園 芸	29
(2) 農 業	32
(3) 烹 業	36
(4) 工 芸	40
木 工	42
染 色	44
皮 革	46
8 家 庭	
(1) 家 庭	49
(2) 縫 製	55
(3) クリーニング	58
(4) パソコン	63

II 進路指導

1 進路指導	67
--------	----

III 生活指導

2 生活指導	73
--------	----

I 各 教 科

語 会 學 科 樂 育
國 社 數 理 音 保 健 休



1 国語の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

国語では、社会生活をおくる上で必要な国語についての理解を深め表現する能力を伸ばすこと目標にしている。従って、指導内容を選定するに当たっては、基礎的な国語の力を養うための言語事項を踏まえつつ理解力・表現力を伸ばし、さらに実生活の中で必要になると思われる具体的な事項について、小学校学習指導要領「国語」第1学年～第6学年の内容と、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説～養護学校（精神薄弱教育）編一「国語の具体的内容」から「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 文字や語句、文、文章についての基礎を養う。
- 2 目的や場に応じて適切に表現できるようにする。
- 3 指示や説明を適切に聞き取ることができる。
- 4 いろいろな文章や読み物を読んで内容を読み取り、身近な事柄や社会的事象にも関心をもたせるとともに、思考力や想像力を伸ばす。
- 5 挨拶や返事がきちんとでき、周囲の人と円滑にコミュニケーションがとれ、必要な場合は進んで電話をしたり、手紙を送ることができる。
- 6 生活の様々な場面で必要となる表示や掲示、書類等の記入、説明書等について知識をもち、対応できるようにする。
- 7 自分の身元について知り、尋ねられた時には適切に答えたり、履歴書等を手本に見て書けるようする。

〔国語〕

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 言語事項	(1) 発音及び発声		<ul style="list-style-type: none"> ○ なまりや癖のない正しい発音で話すことができる。
	(2) 文字	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平仮名、片仮名、漢字、ローマ字を用いて読み書きすることができる。 ○ よく使われる簡単な漢字の書き方や使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平仮名、片仮名の読み書きができる。 ○ 必要な箇所は片仮名を使うことができる。 ○ よく使われる漢字の読み書きができる、学習した漢字を進んで文や文章の中で使うことができる。 ○ 日常用られる簡単な単語についてローマ字で表記されたものに 관심を持ち、ローマ字を読んだり、書いたりできる。
	(3) 表記	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長音、拗音、促音、撥音、助詞「を、は、へ」などを正しく使うことができる。 ○ 句点、読点、かぎ（「」）などを正しく使うことができる。 ○ 送り仮名の付け方が分かる。 ○ 段落の始め、会話の部分などの必要な箇所では行を改めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長音、拗音、促音、撥音、助詞「を、は、へ」などを正しく読んだり書いたりできる。 ○ 句読点を適切に打ち、必要な箇所はかぎを使うことができる。 ○ 送り仮名に注意して文章を書くことができる。 ○ 必要な箇所は改行して書くことができる。 ○ いろいろな語句に关心を持ち使うことができる。
	(4) 語句	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な物の名や事象、人の活動や社会の事象などを表す語句を理解する。 ○ それぞれの語句は文脈によって様々な意味で使われていることを知る。 ○ 語句にはその性質や役割の上で類別があることを知る。 ○ 表現したり理解するために必要な文字や語句について辞書を利用して調べる方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分からない文字や語句について辞書を使って調べることができる。
	(5) 文及び文章の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文の構成について初步的なことを知る。 ○ 文と文との意味のつながりを考えながら指示語や接続語を適切に使うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主語と述語との対応に気を付けて表現できる。 ○ 文と文との意味のつながりを考えながら指示語や接続語を適切に使うことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
2 表現・理解	(6) 言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の敬体と常体の違いを理解する。 ○ 共通語と方言とでは違いがあることを理解する。 ○ 敬語について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時には丁寧な言葉を使ったり、共通語で話すことができる。 ○ 場に応じた適切な挨拶や応答ができる。 ○ 敬語を使う態度を身に付ける。
	(7) 書写	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の組立て方や大きさや配列に注意して書くことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の形を整えて読みやすく書くことができる。 ○ 鉛筆、ペン、毛筆などを使って書くことができる。
	(1) 聞く、話す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人の話しをよく聞き、その内容が分かる。 ○ 指示内容、説明内容が分かる。 ○ 要点をおさえて順序よく話すことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見聞きしたこと、経験したことの順序だてて話すことができる。 ○ 話の内容や意見を聞きとり、必要な時にはメモをとることができる。 ○ 自分の意見を相手に分かるように要点を落とさず、要領よく話すことができる。
	(2) 読む	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな読み物を読んだり、劇、映画、テレビなどを見たりして内容が分かる。 ○ 登場人物の気持ちを読み味わい、作品の主題が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物語を読んで場面や情景を思い描くことができる。
	(3) 書く	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意図したことを相手に分かるよう書くことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容を考えながら要点を落とさずに順序だてて文を書くことができる。
	(1) 電話・通信文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な場合には電話、ファクシミリ、手紙などで連絡をとることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話や通信文などで連絡をとることができる。
	(2) 標識、看板、広告、立て札、掲示	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な標識、看板、広告、立て札、掲示などを正しく読み取り、内容が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標識、看板、広告、立て札、掲示などを読み取ることができる。
	(3) 伝票、領収書、諸届け、申込書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な伝票、領収書、諸届け、申込書などの記入の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝票、領収書、諸届け、申込書などの記入ができる。
	(4) 説明書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中で使われる器具や医薬品などの説明が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明書を正しく読み取り、器具や医薬品を使用することができる。
	(5) 標語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中で目にする外来語の標語が分かる。 	
3 生活に必要な具体的な事項	(6) 身元証明書 履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の身元について知り、身元証明書・履歴書の書き方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の身元について正しく答えたり、書いたりできる ○ 自分の履歴書を手本を見て書くことができる。

2 社会の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

社会自立、職業自立を図るためにには社会の様子、働きや移り変りについて関心を持ち、社会生活に必要な能力や態度を身に付けることが大切である。そのためには、社会の仕組みや社会の一員として守るべき決まりや義務・権利を知ることが必要であり、日常生活に關係の深い公共施設や公共物を利用ることができなければならない。また、国際社会に生きる一員として世界の出来事に関心を持つことも必要である。

このことから、小学校学習指導要領「社会」第3学年～第6学年程度の内容、盲学校、ろう学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「社会の具体的な内容」から「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 沖縄県の自然や生活の様子を理解し、移り変りに関心を持たせる。
- 2 地図の活用を通して、日本の都道府県名や世界の主な国の位置を知り、生活の様子などに関心を持たせる。
- 3 台風や梅雨を理解させ、季節に応じた生活をする態度を養う。
- 4 産業と私達の生活との関係を理解させる。
- 5 西暦や元号、世紀を活用することができるようとする。
- 6 歴史上の主な出来事や人物に関心を持たせる。
- 7 身近な地域の歴史学習を通して、歴史に対する興味や関心を高め文化的な遺産を大切にする態度を養う。
- 8 日常生活に關係の深い公共施設や公共物などの働きを理解し、それらを適切に利用することができるようとする。
- 9 時事問題に関心を持たせ理解させる。
- 10 社会や国にはいろいろな決まりがあることを理解させ、それらを適切に守ることができるようとする。
- 11 生産や消費などの経済活動について理解させる。
- 12 職業の種類や内容を知り、就職への関心を高める。
- 13 選挙や社会保障制度を理解させ、関心を高める。
- 14 世界の出来事に関心を持たせる。

[社会]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 さまざまな地域	(1) 学校の位置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具志川市と学校の位置が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県地図から学校の位置を調べることができる。
	(2) 地図の見方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図は実際の土地の様子を縮めたものだということが分かる。 ○ 方位（東西南北）が分かる。 ○ 地図記号の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自宅周辺の地図を調べることができます。 ○ 地図で方位を調べることができます。 ○ 読図ができる。
2 身近な地域	(1) 沖縄県の位置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県の位置が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本地図から沖縄県を、沖縄県地図から自分の住んでいる市町村を探すことができる。
	(2) 沖縄県の市町村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県の市町村名が分かる。 ○ 自分の住んでいる市町村の位置と自分の住所が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の住所を書くことができる。
	(3) 沖縄県の人口	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県の人口が分かる。 	
	(4) 沖縄県の気候	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四季や台風、梅雨の意味が分かる。 ○ 気候の特色を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の体験に基づいて沖縄県の気候の特色を発表できる。
	(5) 沖縄県の産業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県の産業の特色を知る。 	
	(6) 基地とくらし	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ沖縄県に基地が多いのかが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄地図で基地のある場所を指すことができる。
	(7) 郷土の行事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々と交流を持ち、行事に参加することができる。
	(8) 郷土を開いた人々	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄県の歴史的人物を知る。 	
3 日本の国土	(1) 日本の位置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の形や位置が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界地図や地球儀から日本を探すことができる。
	(2) 日本の周りの国々と海	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の周りの国々と海が分かる。 	
	(3) 日本の四大島	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本が4つの大きな島からできていることが分かる。 	
	(4) 日本の面積	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本は小さい国であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 面積を他国と比べることができます。
	(5) 日本の人口	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の人口が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口を他国と比べることができます。
	(6) 日本の気候	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の中でも気候に違いがあることが分かる。 	
	(7) 日本の地形	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本が山がちな国であることが分かる。 	
	(8) 日本の区分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の8地方区分や都道府県区分が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県名を読むことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 日本の産業	(1) 産業 (2) 農業 (3) 水産業 (4) 工業 (5) 貿易	<input type="radio"/> いろいろな産業があることが分かる。 <input type="radio"/> 日本の農業の特色を知る。 <input type="radio"/> 世界一の水産国であることが分かる。 <input type="radio"/> 製品により工業名が分かる。 <input type="radio"/> 伝統工芸品を知る。 <input type="radio"/> 輸出、輸入の意味が分かる。	<input type="radio"/> 産業の違いが話し合える。 <input type="radio"/> 主食である米が不足したらどうするか話し合える。 <input type="radio"/> 魚の加工品について話し合える。 <input type="radio"/> 工業製品に关心をもつことができる。 <input type="radio"/> 伝統工芸品に关心をもつことができる。 <input type="radio"/> 商品を見て国産か輸入品か話し合える。
5 日本と世界	(1) 地球儀と世界地図	<input type="radio"/> 地球が球形であることが分かる。 <input type="radio"/> 世界にはいろいろな国があることを知る。	<input type="radio"/> 地球の形をいうことができる。 <input type="radio"/> 世界地図で主な国を探すことができる。
6 年表	(1) 年表 (2) 西暦・元号・世紀	<input type="radio"/> 年表の見方や使い方が分かる。 <input type="radio"/> 現在の西暦・元号・世紀が分かる。	<input type="radio"/> 年表を利用することができる。 <input type="radio"/> 自分の生年月日を西暦と元号で書くことができる。
7 沖縄の歴史	(1) 沖縄の原始時代 (2) 接司の時代 (3) 王国の時代 (4) 県政時代の沖縄 (5) 戦後の沖縄 (6) 復帰後の沖縄	<input type="radio"/> 大昔の人々の暮らし事が分かる。 <input type="radio"/> 接司や城の意味が分かる。 <input type="radio"/> 接司の中の一人が国王になったことが分かる。 <input type="radio"/> 中国やアジアの国々と貿易をしていたことが分かる。 <input type="radio"/> 琉球王国が沖縄県になったことが分かる。 <input type="radio"/> 太平洋戦争で大きな被害を受けたことが分かる。 <input type="radio"/> 終戦後、アメリカに支配されていたことが分かる。 <input type="radio"/> 祖國復帰運動があったことが分かる。 <input type="radio"/> 米軍基地が日本で一番集中していることが分かる。 <input type="radio"/> 日本の最南端に位置しアジアへの玄関であることが分かる。	<input type="radio"/> 絵や写真から当時の人々の暮らしを想像できる。 <input type="radio"/> 身近にある城跡を発表できる。 <input type="radio"/> 首里城公園を見て話し合いができる。 <input type="radio"/> 南部戦跡に关心を持ち話し合いができる。 <input type="radio"/> このころの様子を祖父母や父母から聞くことができる。 <input type="radio"/> これから沖縄について話し合うことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
8 身近な公共施設と事業	(1) 市役所	○ 市役所の所在地と働きが分かる。	○ 市役所に行き案内板等を読みとり目的の場所に行くことができる。
		○ 県庁の所在地と働きが分かる。	○ 県庁に行き案内板等を読みとり目的の場所に行くことができる。
		○ 公民館の主目的、用途が分かる。	○ 公民館に興味・関心を持つことができる。
		○ 図書館で貸し出しているものが分かる。	○ 図書館を利用することができます。
		○ 警察署の働きを知る。	○ 必要な時、警察に電話することができる。
		○ 110番が分かる。	○ 必要な時、消防署に電話することができる。
	(6) 消防署	○ 消防署の働きを知る。	○ 火事があった場合に落ち着いて行動できる。
		○ 119番が分かる。	
9 自然を守る	(7) 病院	○ 病院の各診療科とその内容が分かる。	○ 病院を利用することができます。
		○ 保健所の働きを知る。	○ 保健所を利用することができます。
		○ 郵便局の仕事内容が分かる。	○ 郵便局を利用することができます。
		○ 電話の働きや利用の仕方が分かる。	○ 必要に応じて電話を利用することができます。
		○ 他人と連絡をとる方法として電話電報などがあることを知る。	○ 必要があれば電報を打つことができる。
	(11) 水道		
		○ 上下水道の働きを理解し、使用時の注意点が分かる。	○ 上下水道に関心を持つことができる。
			○ 上下水道を大切に使うことができる。
10 国民生活と政治	(1) 日本国憲法	○ ごみの分別の仕方が分かる。	○ ごみを正しく分別し曜日や場所を守り、ごみを出すことができる。
		○ ごみを出す日、場所が決まっていることが分かる。	○ 環境問題に関心を持ち日常生活で注意をすることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
	(2) 選挙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選挙の意味が分かり、市町村や県、国などで代表者が選ばれていることが分かる。 ○ それぞれの選挙には選挙権と被選挙権があることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会長や学級長を決めるとき立候補や投票をすることができる。 ○ 選挙に対する意識を高める。
11 国民生活と経済	(1) 生産活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産活動（労働）を行えば収入が得られることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画性をもってお金を使うことができる。
	(2) 消費活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費活動には、市場や商店などいろいろなものが関わっていることが分かる。 ○ 経済的、時間的にも計画性をもって生活することの必要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市場や商店、専門店、デパートなどを利用することができる。 ○ 食品などは製造年月日や品質表示を見て買うことができる。
12 国民生活と福祉	(1) 社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障制度の大切さが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民年金や国民健康保険に加入する意欲が育つ。
13 家庭生活	(1) 家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族構成が分かる。 ○ 家族の役割が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族構成が書ける。 ○ 家族の役割が言える。
14 国際社会と平和	(1) 国際社会と平和	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の平和を守るために国々が協力しあっていることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビや新聞、ラジオなどから日本や世界の出来事に関心を持つことができる。
	(2) 各国の国旗	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本や世界の主な国の国旗やその役割を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各国の国旗を尊重することができる。

3 数学の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

精神薄弱養護学校高等部における数学教育の目標は、「生活に必要な数量や図形に対する理解を深め、それらを活用する能力を一層伸ばす」ことである。それを前提として、将来の職業自立に向けて、数と計算、量と測定、図形、数量関係、実務の視点から、小学校学習指導要領「算数」第2学年～第3学年程度の内容、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「数学の具体的内容」から、「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

1 数と計算

やや広い範囲の正数の加法及び減法と、基本的な乗法及び除法ができる、小数、分数の意味が理解できるようとする。

2 量と測定

長さ、重さ、かさなどの量を表す単位が分かり、ものさし、秤など、測定器具を利用できるようとする。

3 図 形

基本的な図形の種類や特徴を理解し、定規やコンパスを使っての作図ができるようとする。

4 数量関係

資料を分類・整理して、表やグラフで表すことや、表やグラフからその資料の特徴を読み取ることができるようにする。

5 実 務

必要に応じて電卓を使用することや、買い物などで金銭処理ができるようとする。

[数学]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
数と計算			
1 整数	(1) 数える (2) 算用数学、漢数字での読み書き (3) 整数の数系列 (4) 位取り (5) 整数の大小	<ul style="list-style-type: none"> ○ グルーピングによる数え方の便利さが分かる。 ○ 数の読み方や表し方が分かる。 ○ 1000までの数の順序・系列が分かる。 ○ 5位数（万の位）までの数の数構成が分かる。 ○ 5位数までの数の大小が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2ずつ、5ずつ、10ずつまとめて数えることができる。 ○ 2とび、5とび、10とび等、数を並べていくことができる。 ○ 5位数までの数を読んだり、書いたりすることができる。
2 小数	(1) 小数の意味と表し方 (2) 小数の数系列 (3) 小数の大小	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数点第1位までの小数の読み方や表し方が分かる。 ○ 小数の数構成が分かる。 ○ 小数点第1位での小数の大小が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数を数直線上に対応させることができる。
3 分数	(1) 分数の意味と表し方 (2) 分数の数系列 (3) 分数の大小	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分数の読み方や表し方が分かる。 ○ 分数の数構成が分かる。 ○ 同分母分数や分子1の分数の大小が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同分母分数（≤1）を数直線上に対応させることができる。
4 加法・減法	(1) 数の合成や分解 (2) 加法の意味 (3) 減法の意味 (4) 加法及び減法の計算 (5) 小数の加法及び減法の計算 (6) 分数の加法及び減法の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10までの1つの数を他の数の和や差で表すことが分かる。 ○ 加法（数量の合計、増加、追加）の意味が分かる。 ○ 減法（数量の差、減少、除法）の意味が分かる。 ○ 繰り上がり、繰り下がりの意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10までの数の合成、分解がスムーズにできる。 ○ 3位数までの加法及び減法の計算ができる。 ○ 小数第1位までの小数の加法及び減法の計算ができる。 ○ 同分母分数（≤1）での加法及び減法の計算ができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
5 乗法・除法	(1) 加法と乗法の関係 (2) 乗法の計算 (3) 乗法と除法の関係 (4) 除法の計算	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 乗法の意味が分かる。 <input type="radio"/> かける数が1増えるとかけられる数の大きさだけ増えることが分かる。 <input type="radio"/> 乗法が用いられる場合が分かる。 <input type="radio"/> 除法の意味が分かる。 <input type="radio"/> 除法の答は、かけ算九九で求められることが分かる。 <input type="radio"/> 除法が用いられる場合が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> かけ算九九で1位数×1位数の計算ができる。 <input type="radio"/> 除法を正しく用いることができる。 <input type="radio"/> かけ算九九1回適用の除法の計算ができる。
6 四則演算 量と測定	(1) 四則の混ざった計算	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 計算の順序（括弧、乗法、除法が優先）が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 優先する順序で四則の混ざった計算ができる。
1 長さ	(1) 長さの測定 (2) 単位の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 単位（cm, mm, m）が分かる。 <input type="radio"/> cmとmm, mとcmの相互関係が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 任意単位をもとに長さの比較ができる。 <input type="radio"/> cm, mmで長さを読み取ることができる。 <input type="radio"/> cmとmm, mとcmの単位の換算ができる。
2 広さ	(1) 広さの比較	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 1 cm方眼（1 cm²）、1 m方眼（1 m²）の広さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 任意単位（方眼の個数）をもとに広さの比較ができる。
3 かさ	(1) かさの比較 (2) 単位の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 同じ容器に移し替えることにより比較ができることが分かる。 <input type="radio"/> 単位（l, dl, ml, cc）が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 任意単位（容器）をもとに数値化して、かさの比較ができる。 <input type="radio"/> l升, dl升を使ってかさを表すことができる。 <input type="radio"/> lとdl, lとml, lとccの単位の換算ができる。
4 重さ	(1) 重さの測定 (2) 単位の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 単位（kg, g）が分かる。 <input type="radio"/> kgとgの相互関係が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 手で持って、ある程度の重さの比較ができる。 <input type="radio"/> 重さを秤で読み取ることができる。 <input type="radio"/> kgとgの単位の換算ができる。
5 時刻・時間	(1) 時計を読む (2) 単位の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 何分前の意味が分かる。 <input type="radio"/> 時刻と時間の違いが分かる。 <input type="radio"/> 単位（時, 分, 秒）が分かる。 <input type="radio"/> 年, 月, 日, 時, 分, 秒の相互関係が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 時計を正しく読むことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
図形	(3) 時間の計算		<ul style="list-style-type: none"> ○ 線分図や時計を使って、2時間間の時間や、ある時間前（後）の時刻を求めることができる。
1 位置関係	(1) 位置関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平面的な位置は2つの座標（前後、左右、上下）の交点で表すことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上下、前後、左右を使って、座席、靴箱など平面的な位置を表すことができる。
2 平面图形	(1) 基本的图形の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 角、辺、頂点、直角、半径、直径が分かり、正方形、長方形、直角三角形、円の特徴が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定規を使って辺の長さを測ることができる。
	(2) 基本的图形の作図		<ul style="list-style-type: none"> ○ コンパスを使って円を描くことができる。 ○ 方眼用紙に正方形、長方形、直角三角形、円の作図ができる。
数量関係			
1 表とグラフ	(1) 資料の分類・整理		<ul style="list-style-type: none"> ○ 観点を決めて資料を分類・整理することができる。
	(2) 表の作成と比較	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表やグラフは資料の特徴を把握するための手段であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料から表を作成することができる。 ○ 表から対応関係を読み取ることができる。
	(3) グラフの作成と比較	<ul style="list-style-type: none"> ○ 棒グラフ、折れ線グラフの構成要素（表題、単位、縦軸、目盛）について分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフから特徴をとらえることができる。 ○ 表からグラフ、グラフから表を作成することができる。
実務			
1 金銭処理	(1) お金の種類と特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ お金（硬貨、紙幣）の種類や特徴が分かる。 	
	(2) お金の等価関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ お金の等価関係が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な両替ができる。
	(3) お金の両替	<ul style="list-style-type: none"> ○ 両替の意味が分かる。 	
	(4) お金の計算		<ul style="list-style-type: none"> ○ 硬貨、紙幣の簡単な組み合せのお金を数えることができる。
	(5) 買い物学習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単なおつりの計算ができる。 ○ 小遣い帳に収支を記入することができる

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
2 電卓	(1) 電卓の使い方 (2) 電卓による四則演算 (3) 消費税、割引価格の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電卓の使い方と便利さが分かる。 ○ 消費税、割引価格の計算方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電卓を正しく使うことができる。 ○ 電卓を使って、四則演算ができる。 ○ 電卓を使って、消費税、割引価格の計算ができる。

4 理科の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

日常生活を営む上で、理科として必要な基礎的・基本的な知識・理解と技能、態度については、小学校学習指導要領「理科」の第3学年～第6学年の内容を基本に踏まえ、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「理科の具体的な内容」と中学校学習指導要領「理科」の内容を参考に、社会自立に向けて、必要な事項を「基礎的・基本的指導事項」として精選した。

1 生物とその環境

- 生物と無生物を比較して生物の特性をとらえさせるとともに、環境と生物の関係を理解させ、自然を大切にする態度を育てる。
- 植物や動物を体のつくりや働きなどの共通点や相違点をもとに分類することにより、それぞれの特徴をとらえさせ、生物への理解を深めさせる。
- 身近な植物のつくりや働きを調べることにより植物への理解を深め、人間と植物のかかわりに気付かせる。
- 人の体のつくりや働きを他の動物と比較しながら調べ、生物の体には共通の働きがあることを理解させ、生命を尊重する態度を育てる。

2 物質とエネルギー

- 物質の性質を観察、実験を通して調べることにより、筋道を立てて考えたり、判断したりする能力と態度を育てる。
- 物の重さや重さの違いを調べ、日常生活に役立てることができるようとする。
- 電気の性質や働きを知ることにより、電気製品に関心をもち、安全に取り扱うことができるようになる。

3 地球と宇宙

- 毎日の気温の変化や四季の移り変わりを調べ、天気の変化に関心をもたせ、新聞、テレビなどの情報を活用することができるようとする。

〔理科〕

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
生物とその環境			
1 生物と無生物	(1) 生物 (2) 無生物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然界には、生物と無生物がいることが分かる。 ○ 生物の特性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりの自然に注目し、生物と無生物に分けることができる。 ○ 生物と無生物を比較し、生物の特性をとらえることができる。
2 生物の分類	(1) 植物と動物 (2) 植物の分類 ① 種子植物 ② 胚子植物 (3) 動物の分類 ① 脊椎動物と無脊椎動物 ② 脊椎動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物は、植物と動物に分けられることが分かる。 ○ 植物の特徴が分かる。 ○ 動物の特徴が分かる。 ○ 種子植物の特徴が分かる。 ○ 胚子植物の特徴が分かる。 ○ 脊椎動物の特徴が分かる。 ○ 無脊椎動物の特徴が分かる。 ○ 脊椎動物の特徴を知り、その特徴から脊椎動物は、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類に分けられることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物の観察から植物と動物に分けることができる。 ○ 植物の特徴を理解することができる。 ○ 動物の特徴を理解することができる。 ○ 種子植物の特徴を理解することができる。 ○ 胚子植物の特徴を理解することができる。 ○ 身近な動物を比較して、脊椎動物と無脊椎動物に分けることができる。 ○ 動物を観察し、その特徴に関心をもつことができる。 ○ 脊椎動物の特徴をとらえ、分類することができる。
3 植物のつくりと働き	(1) 花のつくり (2) 実や種子のでき方 (3) 種子のつくりと芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花には、めしべ、おしべ、花びら、がくがあることが分かる。 ○ めしべは、柱頭、花柱、子房、胚珠からできていることが分かる。 ○ 花粉がめしべの柱頭につくと受粉して結実することが分かる。 ○ 種子の中に胚があることが分かる。 ○ 胚が育つための養分が種子にたくさんわえられていることが分かる。 ○ 発芽したあとの子葉や胚乳には養分がなくなっていることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな花のつくりに関心をもち、観察することができる。 ○ 花粉を観察することができる。 ○ 胚を調べることができます。 ○ 実験（ヨウ素でんぶん反応）で確かめることができます。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 人の体	(4) 植物の成長と日光、肥料	○ 種子の発芽には水分、適当な温度、空気が必要であることが分かる。	
		○ 植物の成長には、水分、日光、肥料等が必要であることが分かる。	○ 水分、日光、肥料の関係を実験によって確かめることができる。
		○ 植物の成長には温度が関係していることが分かる。	
		○ 土を耕す意味が分かる。	
		○ 植物の体では水は養分を運ぶ役目をしていることが分かる。	
		○ 根には根毛があり、養分や水分を吸い上げていることが分かる。	○ 食紅、赤インクをしみ込ませた水を根が吸い上げている様子を確かめることができる。
		○ 茎は根が吸い上げた水や養分、さらに葉でつくられた、でんぶんの通り道になっていることが分かる。	○ ヨウ素でんぶん反応で茎をでんぶんが通っていることを調べることができる。
	(5) 植物の成長と温度、土	○ 葉から水が蒸散していることが分かる。	○ 蒸散作用を実験によって確かめることができる。
	(6) 根や茎のつくりと水	○ 人が体を動かすことができる原因是骨や筋肉の働きによることが分かる。	○ 骨と筋肉は一緒に働き、人が行動するためにうまくできていることに気付くことができる。
		○ 吸い込む空気とはきだす空気の違いが分かる。	○ 吸い込む空気とはきだす空気の違いを調べることができる。
		○ 呼吸により体内に酸素を取り入れ二酸化炭素を出していることが分かる。	
	(7) 葉のつくりと水のゆくえ	○ 食べ物は口から胃、腸へと移動する間に消化吸収されやすい物に変わっていくことが分かる。	○ 唾液によってでんぶんが変化することを調べることができる。
		○ 消化された養分は腸から吸収され血液中に入り、吸収されなかった物は糞として排出されることが分かる。	
	(1) 骨と筋肉	○ 血液は心臓の働きで体内を巡り養分、酸素、老廃物、二酸化炭素を運んでいることが分かる。	○ 血液の通り道を調べることができる。
		○ 人の体は目、耳、皮膚等の感覚器官があり、それらには決まった働きがあることが分かる。	○ 人の体に关心を持ち、目、耳、皮膚などの働きを調べることができる。
	(2) 肺と呼吸		
	(3) 食べ物の消化と吸収		
	(4) 心臓と血液の循環		
	(5) 感覚器のつくりと働き		

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
物質とエネルギー 1 物の温まり方と体積 2 物の重さと天秤 3 物の変化 4 水溶液の性質と働き	(6) 人の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人も動物と同じように卵子と精子が結びつくと生命が誕生し、子どもが母体内で成長して生まれてくることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の誕生に关心を持ち、生命的神秘性やすばらしさを感じ、生命を尊重することができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全に気をつけて実験ができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属、水、空気は温めたり冷やしたりするとその体積が変わるが、変わり方には違いがあることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 固体、液体、気体の熱の伝わり方を日常経験を通して説明ができる、実験で確かめることができる。
	(2) 物の温度と体積の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属、水、空気は温めたり冷やしたりするとその体積が変わるが、変わり方には違いがあることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 温度による体積の変化を日常生活の現象と結び付けて考えることができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 天秤の支点から等距離に物をつるして水平につり合ったとき、物の重さは等しいことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 棒や天秤をつり合わせることができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 上皿天秤の使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上皿天秤を使って、物の重さを量ったり、決められた重さを量りとることができる。
	(3) 物の重さと体積	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重さが同じでも物質によって体積が違うことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物の重さを一定にして、体積を比べることができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 物が水に溶ける量には限度があることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物の溶け方を調べることができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 物が水に溶けても全体の重さは変わらないことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水の温度を変えて溶解度を調べることができる。
	(1) 物の溶け方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物が水に溶ける量は温度や溶ける物によって違うことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全に気をつけて実験ができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 物が燃えるときには、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることが分かる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 酸素の中では物が激しく燃えることが分かる。 	
	(1) いろいろな水溶液	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水溶液には、固体、液体、気体の溶けているものがあることが分かる。 	

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
5 電気	(2) 水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水溶液には色やにおいなどの異なるいろいろなものがあることが分かる。 ○ 水溶液には酸性、アルカリ性、中性の性質のものがあることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水溶液の性質を指示薬を使って調べることができる。 ○ 安全に気を付けて実験することができる。
	(3) 水溶液と金属の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水溶液に金属を入れると金属を溶かし、気体を発生させたり、金属の表面を変化させたりするものがあることが分かる。 	
	(1) 明かりをつけよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 回路がつながっていると豆電球は点灯し、離れると点灯しないことが分かる。 ○ 物には電気を通す物と通さない物があり、金物は電気を通すことが分かる。 	
	(2) 電気の働き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乾電池のつなぎ方による電流の大きさや働きの違いが分かる。 ○ 電気器具の安全な扱い方が分かる。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気を通す物と通さない物を実験で確かめることができる。 ○ 乾電池のつなぎ方を変えて電流の大きさや働きの違いを調べることができる。 ○ 電気器具を安全に扱うことができる。
地球と宇宙	(1) 天気と気温の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日光の当たり方によって、気温が変化することが分かる。 ○ 太陽の高さの変化によって1日の気温が変わることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気温の変化を測ることができる。 ○ いろいろな雲を観察することができる。 ○ 毎日の気温の変化や四季の移り変わりなどには、太陽の高度や雲、風などが影響していることを知り、進んで調べようとする。 ○ 天気の変化に关心を持ち、新聞やテレビ等の情報を活用できる。
	(2) 雲、雨と天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の動きである風や空気中の水分によってできる雲、雨が天気の変化を起こすことが分かる。 	
	(3) 季節と天気	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日の出、日の入りの時刻が季節によって違うことが分かる。 ○ 季節によって太陽の高さが違うことが分かる。 ○ 季節による天気の特徴が分かる。 	

5 音楽の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

社会の一員として、自主的に音楽を楽しみ自らの生活を潤いのあるものにする態度を育てることを目標とし、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「音楽の具体的内容」から「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 歌唱指導では、歌える歌を増やし、お互いに歌声を聴き合って楽しく歌う態度を養う。
- 2 器楽指導では、拍子、リズム感を育成することにより、合奏等の音楽活動では、集団の一員として自他の尊重、共感、連帯感等、社会的に必須な態度を養う。
- 3 鑑賞指導では、生活の中で良い音楽を聴いて楽しむ習慣を育てる。

[音楽]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 歌唱	(1) 曲への興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌う喜びを知る。 ○ 曲名を知る。 ○ 歌詞の意味や内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌える歌を増やし、楽しく歌うことができる。 ○ 生活の中に歌唱を取り入れることができる。 ○ 曲名を覚えることができる。 ○ 歌詞を音読することができる。 ○ 歌詞の表す内容を理解して、気持ちをこめて歌うことができる。
	(2) 発声	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい発声について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい発声で歌うことができる。
	(3) 発音		<ul style="list-style-type: none"> ○ はっきりとした発音で、リズム、音程もできるだけ整えて歌うことができる。
	(4) 曲の表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な音楽記号と、音楽標語の読み方と意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拍子、音楽記号、音楽標語に注意して歌うことができる。
	(5) 聴唱		<ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴き、リズムを正しくとらえることができる。 ○ 範唱を聴き、旋律を正しくとらえることができる。
	(6) 歌詞唱		<ul style="list-style-type: none"> ○ 伴奏に合わせて歌うことができる。
	(7) 歌声への関心		<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いに歌声を聴き合って輪唱、部分合唱ができる。
2 器楽	(1) 読譜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音符、休符が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拍子打ち、簡単なリズム打ちができる。
	(2) 楽器の興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な楽器の名前を知る。 ○ 楽器の扱い方や、しまい方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な楽器の名前を覚えることができる。 ○ 楽器の準備、片付けがきちんとできる。
	(3) リズム奏	<ul style="list-style-type: none"> ○ 打楽器の奏法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単なリズムを打楽器で演奏することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
	(4) 旋律奏 (5) 階名唱 (6) 合奏	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な旋律楽器、打楽器の奏法を知る。 ○ ハ長調の階名が分かる。 ○ 簡単な合奏形態を理解する。 ○ 一人一人の出す音の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な旋律楽器、打楽器で簡単な曲を演奏することができる。 ○ ハ長調の簡単な旋律の階名唱ができる。 ○ 二重奏、小アンサンブルで音楽を表現することができる。 ○ 音の重なりを感じ取って演奏することができる。 ○ 合奏や重奏を通して協力する姿勢を持ち、音楽を創造的に表現することができる。 ○ 合奏を通して集団の一員として活動することができる。
3 鑑賞	(1) 鑑賞への興味・関心 (2) 曲の鑑賞 (3) 楽器の理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ レコード、コンパクトディスク(CD)テープレコーダー、レーザーディスク(LD)、ステレオ等について知る。 ○ 描写音楽、行進曲、舞曲、序曲、民族音楽、現代音楽などの色々なジャンルの音楽があることを知る。 ○ 音楽を聴いて、リズム、旋律、速さなどの特徴を知る。 ○ いろいろな楽器の音色の特徴が分かる。 ○ 各国には国歌があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ステレオ、テープレコーダーの操作ができる。 ○ 色々な音楽を聴いてその良さ、美しさを楽しむことができる。 ○ 曲の拍子やリズムを感じ取って身体表現ができる。 ○ 楽器の音色の特徴に気を付けて聞くことができる。 ○ 曲のイメージを感じ取り曲想を全体的に味わって聴くことができる。 ○ 各国の国歌を鑑賞できる。

6 保健体育の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

保健体育は、運動の合理的な実践と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ習慣を育てるとともに健康の増進と体力の向上を図ることを目指している。このことを踏まえ、中学校学習指導要領「保健体育」、高等学校学習指導要領「保健体育」、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「体育・保健体育の具体内容」から「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

体育分野

- 1 各種の運動を通して、強健な心身の育成を図る（体力の保持、増進）。
- 2 集団行動の基本的な行動様式の確立を図る。
- 3 公正、協力、責任などの態度を養う。
- 4 生涯を通じて継続的にスポーツに親しむことができるようとする。

保健分野

- 1 自他の生命の尊重と生涯を通じて健康な生活をおくるため、健康・安全に関する基礎的・基本的な知識を理解させ、実践することができる。

〔保健体育〕

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
体育分野			
1 身体の清潔		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康保持のため、身体や服を清潔にすることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動後は汗をふいたり、手や顔を洗うことができる。 ○ 汗をかいたら着替え、汚れた服を洗い清潔にすることができる。
2 体操	(1) 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体操は健康や体力の保持・増進、及び準備運動のために行うことを探解する。 ○ どこの部位の運動か分かる。 ○ 柔軟性は身体の各部位を滑らかに動かすために有効で筋肉や腱の損傷の予防になることが分かる。 ○ 動きを持続する能力を高めるには、複数の運動、一つの運動を一定時間連続したり反復したりすることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力を高めるための体操ができる。 ○ スポーツ技能を高めるための体操ができる。 ○ 健康増進のための体操ができる。 ○ 体の状態を考えて進んで適度な運動ができる。 ○ 柔軟性及び巧みな動きを維持することができる。 ○ 力強い動きを高めることができる。 ○ 動きを持続する能力を高めることができます。 ○ 安全に注意して運動することができます。
3 集団行動		<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団行動の基本的な行動様式が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢、方向転換、集合、整列番号、解散など合図により行動することができます。 ○ 動作が機敏にできる。 ○ 集団の約束やきまりを守って行動することができます。
4 水泳	(1) ドル平泳法 (2) クロール (3) 平泳ぎ (4) 背泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 泳ぐ前や水泳時のマナーが分かる。 ○ 水温が分かる。 ○ 水泳では、浮くこと、進むこと、呼吸法が最も基本的技術と分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止の心得を守り、安全な行動の仕方ができる。 ○ 水温計で水温を測定することができます。 ○ 水中で伏し浮きや、け伸びができる。 ○ 水中で顔をつけてばた足ができる。 ○ 水中の呼吸の仕方ができる。 ○ ドル平泳法、クロール、平泳ぎ、背泳ぎができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
5 器械運動	(1) マット		<ul style="list-style-type: none"> ○ 連続前転、開脚前転、開脚後転などができる。
	(2) 跳び箱		<ul style="list-style-type: none"> ○ 開脚跳び、台上前転などができる。
	(3) 鉄棒		<ul style="list-style-type: none"> ○ 逆上がり、振り飛びなどができる。
	(4) 平均台		<ul style="list-style-type: none"> ○ 方向変換をしたり、後歩き、片足立ちなどができる。
		○ 器具の清潔や安全の心得が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 器具の出し入れや運搬は協力してけがのないようにできる。
		○ 相手の技能に応じて正しい補助の仕方が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ けがのないように安全に補助することができる。
		○ 基本的ステップや隊形、パートナーとの組み方が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ フォークダンスや民謡を楽しく踊ることができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の考えや感情を自由に身体で表現できる。
6 ダンス			
7 陸上競技	(トラック競技)		
	(1) 短距離走	○ 正しい記録の測定方法が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短距離走、長距離走、フィールド競技で自己の能力を最大限に発揮できる。
	(2) 長距離走	○ 時間を競い合うスポーツであることが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ リレーで正しくバトンパスができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いに協力して計画的に競技や練習ができる。
	(フィールド競技)		
	(3) 走り幅跳び	○ 距離を競い合うスポーツであることが分かる。	
	(4) 走り高跳び	○ 高さを競い合うスポーツであることが分かる。	
	(5) 砲丸投げ		
	(6) 円盤投げ		<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールを守って公正に競技ができる。
8 球技	(1) バレーボール		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康・安全に留意することができる。
	(2) バスケットボール	○ 自陣と敵陣の区別が分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動能力を高め作戦をたてそれに応じた攻防の仕方を工夫してゲームができる。
	(3) ハンドボール	○ 簡単なルールが分かる。	
	(4) ソフトボール	○ 声をかけあうことによってチームプレーができ接触防止になることが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームにおける自己の役割を自覚してその責任を果たし、練習やゲー
	(5) 卓球		
	(6) バドミントン		

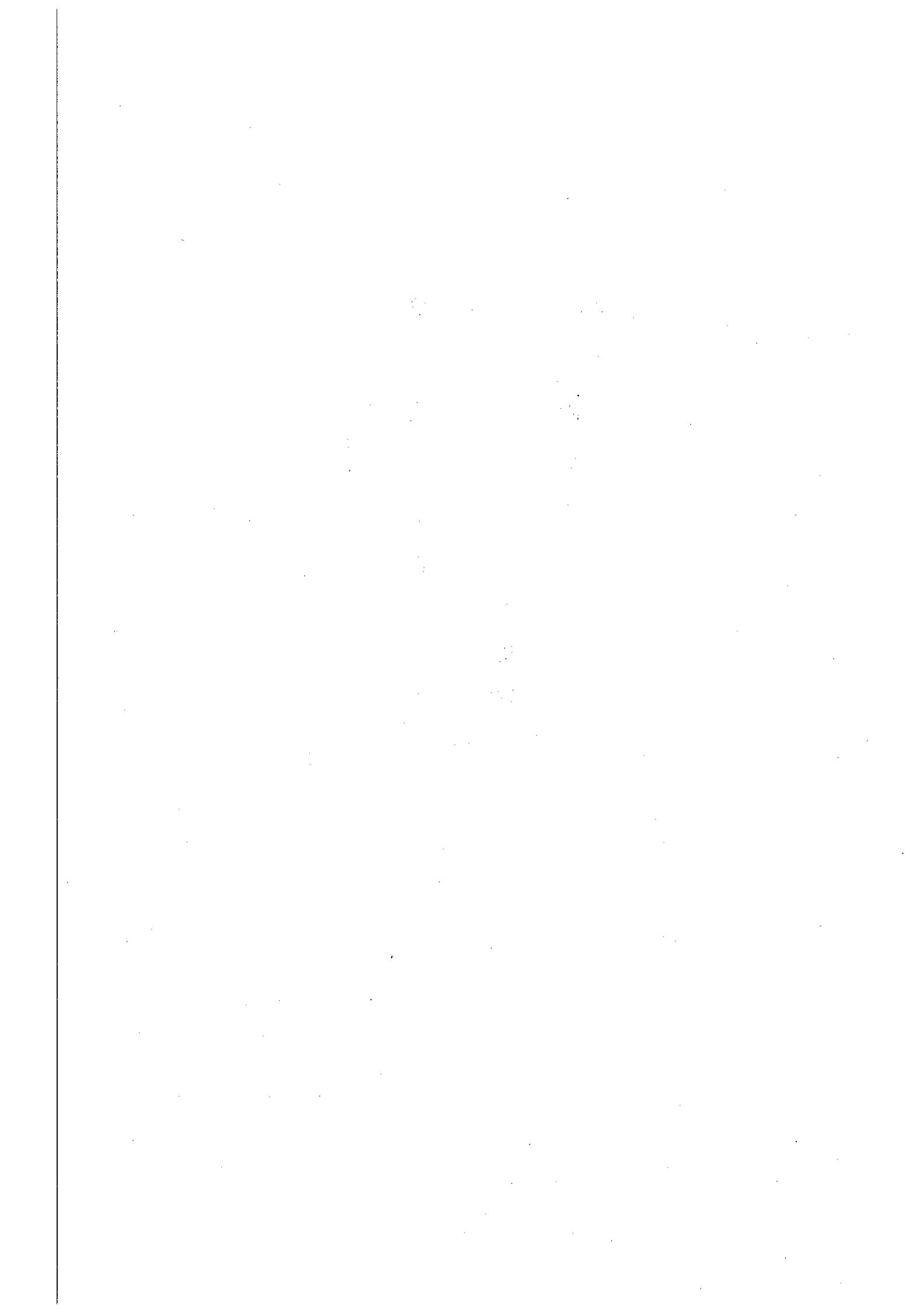
指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
9 武道 (棒術)	(7) サッカー (8) フットベースボール	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲームでは集団プレーが重要であることが分かる。 ○ 礼儀作法が分かる。 ○ 武道は武技、武術などから発生した我が国固有の文化と伝統的な行動の仕方が重視される運動であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ムができる。 ○ 集中してプレーすることができる。 ○ 相手を尊重し礼儀作法に従って行動できる。 ○ 武道に対する伝統的な考え方を理解し、行動の仕方を身に付けることができる。
10 生涯体育		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯を通して、健康で安全な生活を送るための体育的活動の必要性が分かる。 ○ 体育施設、用具などの使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らすすんで運動に親しみ、心身を鍛えることができる。 ○ 身近な生活において、健康で安全な生活が実践できる。 ○ 生涯にわたり、楽しく明るい生活を営む姿勢ができる。 ○ 運動公園、体育館、プール等の公共施設、一般の施設等、正しく利用することができる。 ○ 器具の準備、片付けの仕方が分かり、安全に取り扱うことができる。
保健分野			
1 わたした ちの体	(1) 身体の成長 (2) 健康診断の意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体の発育や健康に关心を持ち、体の各部の働きが分かる。 ○ 定期健康診断で病気の早期発見、早期治療の重要性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい方法で身体測定ができる。 ○ 医療機関で受診することができる。
2 傷害の防 止	(1) 交通事故 (2) 学校、家庭での 事故	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての人が生命の尊重に徹し責任を持って行動することが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 悪ふざけやいたずら、無理な行動をしない。
3 病気の予 防と処置	(1) 病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事、睡眠、運動が抵抗力に影響を及ぼすことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動や作業等の後、汗をふいたり、手足を洗ったり、うがいしたり、着替えたりできる。 ○ バランスのとれた食事、規則正しい生活、適度な運動をすることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(2) 伝染病の予防 (3) 応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具合の悪い時は早急に手当することができる。 ○ 主な伝染病とその予防が分かる。 ○ 予防接種を行うことにより体の免疫が高まることが分かる。 ○ 医師の治療を受けるまでの間、症状の悪化を防ぎ、やわらげるための応急の処置をすることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病気の時や疲れた時は適宜休養をとることができる。 ○ 病気の時は回りの人に知らせ、医療機関に行くことができる。 ○ 薬を指示通り服用できる。 ○ 病原体を媒介する蚊や蠅を駆除したりすることができる。 ○ 簡単な応急手当ができる。
4 環境と健康	(1) 自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境の破壊が人間の生存と健康をおびやかしていることが分かる。 ○ 自然環境を絶えず好ましい状態に保つ必要性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き缶、古新聞など捨てずに回収し、再利用につとめることができる。 ○ 汚水やごみを水域に捨てない。 ○ 除草剤や殺虫剤を乱用しない。 ○ ごみの分別ができる。
5 性機能とその成熟	(1) 男性の生殖器の成熟 (2) 女性の生殖器の成熟と性周期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精子をつくる働きと精子を女性の生殖器に送り込む働きがあることが分かる。 ○ 射精現象が分かる。 ○ 睡眠中におきる射精を夢精ということが分かる。 ○ 卵子をつくり男性の精子を受け入れて受精、妊娠し、胎児を育て出産することが分かる。 ○ 一定の周期で卵子が排出されることが分かる。 ○ 腹で射精され子宮で胎児が育てられることが分かる。 ○ 個人差はあるがおよそ25日～35日の周期で繰り返されることが分かる。 ○ 基礎体温の測定により体温の上昇、低下があることが分かる。 ○ 排卵が終わると基礎体温が上昇することが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月経の処理ができる。 ○ 月経周期を計算することができる。 ○ 基礎体温を計ることができます。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(3) 妊娠と出産	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月経が始まると基礎体温が低下することが分かる。 ○ 性交渉により受精することが分かる。 ○ 妊娠したら月経が休止することが分かる。 ○ 胎児は子宮口から腟を通って体外に出ることが分かる。 	
6 家庭生活と健康	(1) 結婚	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達や経済的な自立が結婚生活の基盤であることが分かる。 ○ 結婚生活は子どもを生み育てる営みがあることが分かる。 ○ 出産適齢と結婚適齢があることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出産適齢から結婚適齢を考えて、生活設計を立てることができる。
	(2) 家族計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済と母体の健康を考え、子どもの生み方を計画することが分かる。 ○ 主な避妊法の原理が分かる。 	
	(3) 母子保健	<ul style="list-style-type: none"> ○ 母体の心身の健康状態が胎児の発育に影響を与えることが分かる。 ○ 妊婦の喫煙が低体重児出生の原因となることが分かる。 ○ 栄養不足、貧血、妊娠中毒症などの健康管理のため、定期的な健康診断を受けることの重要性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康な母体が健康な赤ちゃんを生むことを理解し、日常の健康管理に留意することができる。
7 余暇の活用		<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康で文化的な生活への活用の時間であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居住地域での余暇活動（諸行事）に積極的に参加することができる。 ○ 公共のスポーツ、文化施設などを利用することができる。 ○ 充実した余暇の過ごし方を工夫することができる。
8 性病	(1) エイズの予防	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不特定多数の人と性交渉することが性病になる危険性が高いことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい男女交際の在り方を知り、規律ある生活を送ることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
9 成人病の予防		<ul style="list-style-type: none"> ○ エイズは性交渉、血液、母子感染により感染することが分かる。 ○ 患者や感染者と日常生活を共にしてもエイズは移らないことが分かる。 ○ 運動不足、肥満、食塩のとりすぎ、喫煙、ストレスなどが成人病を促進させることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表をみて喫煙者と非喫煙者の死亡率の比較ができる。 ○ 生活行動のチェックを行い生活条件を整えることができる。
10 食生活と健康	(1) 栄養と健康 (2) 食中毒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養過剰と運動不足とのアンバランスから肥満になることが分かる。 ○ 食中毒は細菌性のものが多く、また夏に多く魚介類に多いことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な食品を偏食しないで食べることができる。 ○ 腹痛、吐き気、下痢などの症状のとき、食中毒の疑いを持つことができる。 ○ 腐敗した食品の見分けができる。
11 医療制度	(1) 医療機関の利用 (2) 保険手帳の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての国民が保険に加入していることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保険手帳、診察券を持参して受診することができる。 ○ 医療費の支払いができる。

職業
園農業
窯工芸業
木染革工色



(1) 園芸の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

日本で唯一の亜熱帯気象である本県の農業は、今までサトウキビ中心の農業から地域の特性を生かした草花、観葉植物、洋ラン等の花卉園芸中心の農業へ移りつつあり、花卉園芸農家戸数も多くなり生産面積、生産高、売上高も年々増加している。

このような背景を考慮しながら、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「職業の具体的内容」を基に中学校指導書「技術・家庭」の指導内容（栽培領域）を参考に「基礎的・基本的指導事項」を選定し、本校の現場実習を通して得た各事業所の要望等を加味し、職業自立を図るための「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 職業自立と就職の定着を図るため、実習の心構えを授業を通して理解させる。
- 2 鉢物や花壇に適した土づくりを理解させる。
- 3 植物の栽培・管理には数多くの方法（仕方）があることを知り、よりよい商品を作るには管理が大切であることを理解させる。
- 4 季節・気象は植物の成長と深い関わりがあることを理解させる。
- 5 園芸資材、施設等の用途を知り、それを効率的に取り扱う態度を育てる。

[園芸]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装	○ 実習内容に応じた服装で、実習を行うことを理解させる。	○ 一人で着替えができ作業に適した服装で実習に臨むことができる。
	(2) 態度	○ 積極的に授業に参加することが大切であることを理解する。	○ 興味・関心を持ち積極的に授業に参加することができる。
	(3) 安全	○ 様々な材料、道具、機械を扱うので慎重に作業を進めることが大切だと理解する。	○ 指示に従い、安全に気を配りながら集中して作業することができる。
	(4) 指示・伝達・報告	○ 指示、伝達、報告の必要性を理解する。	○ 指示、伝達、報告をすることができる。
	(5) 基礎体力	○ すべての作業には体力が必要であることを理解する。	○ 同じ姿勢を長時間とり続けることができる。 ○ 重い物の移動ができる。
	(6) 集中力・忍耐力	○ 集中力と忍耐力の必要性が分かる。	○ 作業に集中し最後までやりとげることができる。
	(7) 責任・協力	○ 仕事には責任と協力が必要なことが分かる。	○ 与えられた仕事は責任を持って成しとげる。
	(8) 意欲	○ 人間の行動の原動力は意欲であることを理解する。	○ 意欲的に行動できる。
	(9) 整理・整頓	○ 整理・整頓はすべての作業で大切であることが分かる。	○ 使用後の後片付けができる。 ○ 次の作業に向けての準備ができる。
2 園芸を学ぶ	(1) 園芸の意義	○ 園芸が一つの職業であることが分かる。	○ 園芸に関心を持つ。
	(2) 地域での園芸	○ 地域で栽培されている草花、観葉植物、洋ラン等を知る。	○ 地域で栽培されている草花、観葉植物、洋ラン等の名称と実物を一致させることができる。
	(3) 気象と園芸	○ 季節に適した草花、観葉植物、洋ラン等を知る。	○ 季節にあった草花、観葉植物、洋ランの栽培管理ができる。
3 農工具と資材	(1) 農工具の名称と扱い	○ 農工具や資材の名前と用途が分かる。	○ 目的に応じた農工具や資材をそろえることができ、安全に使い分けることができる。
4 草花と観葉植物の生産と管理	(1) 培養土づくり	○ 用土の性質と培養土の利用目的が分かる。	○ 目的に応じて用土が使え、指示に従い培養土がつくれる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(2) 播種 (3) 育苗 ① 移植(鉢上げ) ② 鉢替え ③ 灌水 ④ 整枝、誘引 ⑤ 施肥 (4) 定植 (5) 繁殖 (6) 除草・中耕 (7) 摘芯・摘芽等 (8) 病害虫と予防 (9) 販売	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種の蒔き方が分かる。 ○ 育苗管理のやり方が分かる。 ○ 苗の成長に合わせて鉢やプランターに移植することが分かる。 ○ 鉢替え時期が分かる。 ○ 灌水の目的と時期が分かる。 ○ 整枝、誘引の意味が分かる。 ○ さまざまな肥料の性質を知り、施肥することが分かる。 ○ 定植の意味が分かる。 ○ 插し芽、挿し木、取り木等の繁殖方法が分かる。 ○ 除草、中耕の意味が分かる。 ○ 摘芯・摘芽等の意味が分かる。 ○ 主に使用される農薬の種類を知る。 ○ 農薬の使用目的が分かる。 ○ 生産した物の販売の大切さが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示に従って種蒔きができる。 ○ 育苗管理ができる。 ○ 鉢やプランターに移植がうまくできる。 ○ 鉢替えがうまくできる。 ○ 植物を見て灌水の是非を報告し、指示通り灌水ができる。 ○ 整枝、誘引ができる。 ○ 肥料の種類に応じた施肥ができる。 ○ 株間を考えながら定植ができる。 ○ 插し芽、挿し木、取り木等で増やすことができる。 ○ 草花等を保護しながら除草や中耕ができる。 ○ 指示に従い、摘芯・摘芽等ができる。 ○ 指示に従い農薬の散布ができる。 ○ 指示に従い販売することができる。
5 洋ラン栽培と管理	(1) 生育環境 (2) 肥培管理 (3) 施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 属種により生育環境の違いが分かる。 ○ 草花と観葉植物は肥培管理が少し違うことが分かる。 ○ ハウスの必要性を知る。 ○ いろいろなハウス等の名前と用途が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示に従い生育環境に近い環境を作ることができる。 ○ 指示に従い肥培管理ができる。 ○ 指示に従いハウスの管理ができる。 ○ 指示に従いハウス内の栽培管理ができる。

(2) 農業の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

職業自立の育成を図っていくためには、好ましい人間関係や基本的生活習慣の確立がもっとも大切である。そこで、農業における基礎的・基本的指導事項の選定に当たっては、本校現場実習実施後の「各事業所からの要望」等を十分に加味し、農業実習を通して身に付けさせる事項を9項目設定した。将来、農業に関する職種への就労を目指し、栽培に関する基本的な事項の耕起、播種、定植、灌水、施肥、収穫について農業の指導を通して知識、技能の習得を図るために「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 職業自立と就職の定着を図るため、実習の心構えを授業を通して理解させる。
- 2 栽培学習を農地中心と作物中心の観点から農場管理と作物管理に分け、管理の大切さを理解させる。
- 3 作物の分類においては、代表的な野菜、果樹、草花の分類を理解させ、野菜においては、果菜類、葉菜類、根菜類の分類とその特徴等を生産物と結び付けて栽培学習を習得させる。
- 4 販売学習を通して、品物数や金額の計算、代金や釣り銭の受け渡し等、客とのコミュニケーションを通して人間関係や基本的生活習慣を身に付けさせる。
- 5 生産物を収穫し販売することによって農業に興味・関心を持たせる。

〔農業〕

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習内容に応じた服装で、実習を行うことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で着替えができる作業に適した服装で実習に臨むことができる。
	(2) 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的に授業に参加することが大切であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味・関心を持ち積極的に授業に参加することができる。
	(3) 指示理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示を素直に聞き、内容を理解する。 ○ 指示に対して、「できる」「できない」の判断が必要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はい、いいえがはつきり言える。 ○ 「できます」「できません」がはつきり言える。
	(4) 基礎体力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業には体力が必要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重いものの持ち運びができる。 ○ 長時間同じ姿勢を保つことができる。
	(5) 持続力、忍耐力 集中力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業のきびしさを理解する。 ○ 指示された作業を最後までやり遂げることを理解する。 ○ 作業中と休憩時間の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いやな作業でも我慢して取り組むことができる。 ○ 指示された作業を最後までやり遂げることができる。 ○ 私語を慎み集中して作業に取り組める。
	(6) 協調性	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互い助け合いながら実習に取り組み連帯感を持つことの重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協力して欲しいときは、自分から要請できる。 ○ 他の人が困っているときに進んで協力できる。 ○ 実習中、声を掛け合い励まし合いながら取り組める。 ○ 仲間同志、協力し合い作業ができる。
	(7) 安全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な材料、道具、機械を扱うので慎重に作業を進めることを理解する。 ○ 農薬や化学肥料等が体に対して害を及ぼす危険性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の指示に従い、安全に気を配りながら集中して作業することができる。 ○ 農薬や化学肥料等を安全に使用することに関心を高めることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
2 農業を学ぶ	(8) 能率	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機敏に行動することの大切さを理解する。 ○ 迅速かつ丁寧に仕上げることの必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動作を機敏にして実習に取り組める。 ○ 与えられた作業を迅速かつ丁寧に仕上げることができる。
	(9) 整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習終了後、次回すぐ使えるように、使ったものを丁寧に元の場所に片付けることの大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用後の片付けができる、次の作業に向けての準備ができる。
3 土づくり	(1) 農業の意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業が一つの職業であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業に関心を持つ。
	(2) 地域の農業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で栽培されている野菜や果樹を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で栽培されている野菜や果樹の名称と実物を一致させることができる。
4 農場管理	(1) 耕起	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍬、ショベルを使って畑を耕起することが分かる。 ○ 耕うん機、トラクターを使用して耕起できることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍬、ショベルを使って耕起できる。
	(2) 敵づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍬、ショベルを使って敵づくりをすることが分かる。 ○ 栽培作物に応じて敵幅、敵間の間隔を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鍬、ショベルを使って敵づくりができる。
5 作物管理	(3) 天地返し	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収穫後、天地返しをして次の栽培作物のための準備をすることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ショベルを使って、天地返しができる。
	(1) 播種	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な種子の形を知る。 ○ 種の蒔き方と蒔く量を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適量の種を蒔くことができる。
	(2) 育苗	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育苗管理のやり方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育苗管理ができる。
	(3) 移植	<ul style="list-style-type: none"> ○ 苗の生長に合わせビニールポットに鉢上げ、移植することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧に鉢上げ、移植ができる。
	(4) 間引き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 間引きの意味を知り、良い苗、悪い苗が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良い苗、悪い苗の区別をし、的確な間引きができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
5 作物管理	(5) 灌水	○ 土の湿り具合を見て灌水することを知る。	○ 土の湿り具合に応じて十分な灌水ができる。
	(6) 定植	○ 苗の種類に応じて株間を考え定植することを知る。	○ 苗の種類に応じて株間を考え定植できる。
	(7) 施肥	○ 様々な肥料の性質を知り、施肥することが分かる。	○ 肥料の種類に応じた施肥ができる。
	(8) 中耕・除草	○ 中耕・除草の意味を知る。	○ へら、鎌等を使って安全に気をつけて中耕・除草ができる。
	(9) 薬剤の使用	○ 薬剤の種類名や使用目的を知る。	
	(10) 整枝、誘引	○ 整枝、誘引の意味を知る。	○ 整枝、誘引ができる。
	(11) 剪定	○ 剪定の意味を知る。	○ 果樹類の剪定ができる。
	(12) 繁殖	○ 接ぎ木、挿し木、取り木などの繁殖法を知る。	○ 接ぎ木、挿し木、取り木などによって作物を増やすことができる。
	(13) 収穫	○ 作物の種類によって収穫の適時を知る。	○ 適期の収穫をし、良否及び大小の選別ができる。
	(14) 販売	○ 収穫物を販売し、1個の値段、売った個数、受け取った金額、おつりが分かる。	○ 収穫物を販売し処理することができる。
	(1) 園芸作物の分類	○ 野菜、果樹、草花の分類を知り、代表的な品種名が分かる。	○ 野菜、果樹、草花の分類ができ、代表的な品種名が言える。
	(2) 野菜の分類	○ 果菜類、葉菜類、根菜類の分類を知り、代表的な品種名が分かる。	○ 果菜類、葉菜類、根菜類の分類ができ、代表的な品種名が言える。
	(1) 季節と作物	○ 季節に適した作物を知る。	
7 気象と作物	(2) 気象と作物	○ 気象と作物の生長の関係を知る。	○ 気象条件に応じた栽培管理ができる。
	(1) 農業資材及び道具の名称と用途	○ 資材及び道具の名称と用途を知る。	○ 正しく安全な資材、道具の使用ができる。
9 施設	(1) 施設の種類とその利用	○ 寒冷紗ハウス、ビニールハウス、ガラスハウス（温室）の名称と利用法について知る。 ○ 露地栽培と施設栽培とでは、環境要因が違うことを知る。	○ ハウスの開閉ができる。 ○ ハウス内の栽培管理ができる。 ○ 露地と施設内の環境要因の違いを感じ取ることができる。

(3) 窯業の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

窯業に関する職種への就労を目指し、窯業に関する基本的な工程である土作りから、手びねりや型取り等によるシーサーや皿等の製作、アタッチメントや機械ロクロ等を使っての器の製作、素焼きや本焼きの窯詰め、窯出しの作業、蠟抜きや釉掛け等について窯業の指導を通して、知識、技能の習得を図るための「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 実習に対する心構えを通して、仕事に対する意欲・態度を養う。
- 2 陶器と磁器の違いを分からせ、焼き物に対する理解を深めさせる。
- 3 粘土の出来上がるまでの工程を知らせ、併せて資源の大切さを理解させる。
- 4 手びねり、型とり、ロクロ成形等を通して、焼き物製作の喜び、難しさを分からせる。
- 5 烧き物は、その製作工程で様々な機械を使用するため、安全に心掛けて機械操作ができるようにさせる。
- 6 烧き物は窯出しまでに、素焼き、施釉、本焼きの工程があることを分からせ、素焼き、本焼きには「ガス」を使用するので、窯の操作には細心の注意が必要だということを理解させる。
- 7 窯出して、焼き上がった作品の出来栄えについて自己評価、反省をさせる。
- 8 整理・整頓の重要性を理解させ、作業後の後片付け、清掃等の習慣を身に付けさせる。

〔窯業〕

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装 (2) 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習(作業)内容に応じた服装で安全に実習を行うことが分かる。 ○ 真面目に実習を取り組むことが大事だと分かる。 ○ 実習に入る前に、必要な用具や材料等の準備が必要だということを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で着替えができ作業に適した服装で実習に臨むことができる。 ○ ふざけたりせず、積極的に実習に参加することができる。 ○ 仕事を責任をもって、最後までやりとげることができる。 ○ 皆と協力して仕事ができる。 ○ 作業内容に応じて、機械、用具を準備することができる。
	(3) 安全 (4) 整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業の際は、安全に気を配り気持ちを集中させ持続して作業をすることが大事だと分かる。 ○ 作業後の後片付け、掃除の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全に気を配り、落ち着いた気持ちで実習することができる。 ○ 禁止事項を守ることができる。 ○ 全工程において、実習後、後片付けがきちんとでき、機械、用具、作品を整理・整頓することができる。 ○ 最後に、手をきれいに洗うことができる(水を出しっぱなしにしない)
2 焼き物とは何か	(1) 粘土と普通の土 (2) 焼き物と火 (3) 焼き物の名称と用途 (4) 陶器と磁器の違い (5) 沖縄の焼き物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「窯業」の基礎を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土と普通の土との違いが、手の感触で分かる。 ○ 赤土、白土を見分けることができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 土を火で焼いたら固くなることが分かる。 ○ 焼き物を焼く温度が分かる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常使っている焼き物の名称、用途が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 焼き物を割らない様に、慎重、丁寧に扱うことができる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 陶器と磁器の違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陶磁器の重さを比較して区別できる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄の焼き物の特徴が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近にある焼き物(シーサー、壺等)に目を向け、興味・関心を育てる。
3 機械、用具の取り扱い	(1) 窯、土練機、ロクロ、アタッチメント等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 窯業に使う機械、用具の名称、使用目的、使用方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的に応じて機械、用具を使い分け、安全に作業することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 粘土づくり	(1) 粘 土 (2) 水 篦	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土の原土は、山から採集していくことを知る。 ○ 水簸作業の工程が分かる。 ○ 水量によって、粘土の状態が変化することが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土と石、砂、ごみ等を分別できる。
5 手びねり	(1) 押し型(皿)作成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 皿の製作工程を理解する。 ○ 半乾きの時、器を修正し形を整えることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 麻棒で、粘土を均一に伸ばすことができる。 ○ カッターで、型に添ってきれいに粘土を切ることができる。 ○ 新聞紙を、板の大きさに合わせて手で切ることができる。 ○ 同じ太さのひも、丸玉を作ることができる。 ○ ひも、丸玉で皿の周囲を盛り上げることができる。 ○ 周囲のがさがさした部分をなめらかに削ることができる。
6 型ぬき	(1) 石膏型	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石膏型は、水に弱く割れ易いものだということが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手が濡れていたらきれいに拭いて、石膏型を扱う様にすることができる。 ○ 石膏型に適した分量の粘土を型に押し込み、型ぬきができる。 ○ 固い粘土と柔らかい粘土を分けておくことができる。
7 機械操作	(1) ロクロ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロクロ等の機械のスイッチを入れる時、濡れた手でコンセントを差し込んではいけないことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全にスイッチ操作ができる。 ○ 使用後は、スイッチを切ることができる。
8 乾 燥	(1) 焼き物と乾燥	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出来上がった作品は、十分乾燥させてから素焼きをするということが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乾燥段階の作品を壊さないように慎重に扱うことができる。
9 素焼き	(1) 窯の役割、名称種類、使用燃料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 窯の意味、名称、種類、使用する燃料が分かる。 ○ 学校の窯はガス窯であり、ガスは危険なものだということが分かる。 	

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 素焼きの意味、目的が分かる。 ○ 素焼きの場合は、作品をくっつけても良いことが分かる。 ○ ガス窯の扱い方が分かる。 <p>(2) 素焼き</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 素焼きに適した温度は800℃であることを理解させる。 ○ 窯出しの取り扱い方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素焼き前の作品と素焼き後の作品の区別ができる。 ○ 棚板を組むことができる。 ○ 作品を効率的に詰めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品を種類別に分け、個数を数えることができる。 ○ 作品についてごみを落とすことができる。
10 施釉	(1) 蟻ぬき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蟻ぬきの目的、方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 溶かした蠅で、火傷しないように丁寧に蠅ぬきすることができる。
	(2) 施釉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施釉の目的、方法が分かる。 ○ 粗薬の名前、焼成後の色が分かる。 ○ 施釉後の作品は、触れ合わない方が良いということが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 嫌がらずに、粗薬に触れることができる。 ○ 手早く施釉ができる。 ○ 施釉後の作品には触れないようにすることができる。
11 本焼き	(1) 素焼きと本焼きの違い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素焼きと本焼きの違いが分かる。 ○ 本焼きの温度は1200℃が適温で、その他窯の扱いは素焼きと同じ方法であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品をくっつけずに、効率良く窯詰めができる。 ○ 素焼きと同様、安全に窯操作をすることができる。
12 窯出し	(1) 評価・反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品は、収縮していることが分かる。 ○ 失敗の原因が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良い作品、悪い作品を分けることができる。 ○ 反省点を上げ、次回には、それを克服する意欲を持つことができる。 ○ 物をつくりあげる喜びを味わうことができる。

(4) 工芸の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

工芸は木工、染色、皮革の内容で構成し「基礎的・基本的指導事項」については、内容ごとにまとめた。

[木工]

職業自立を図るために、働く姿勢、集団への適応、安全作業の確認、工具・機械類の初步的技能習得の4点を重視する必要がある。

木工に必要な基礎的・基本的知識と技能についてみると、中学校学習指導要領「技術・家庭」、盲学校、²²聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説－養護学校（精神薄弱教育）編－「職業の具体的な内容」を加味し、さらに、現場実習後の各事業所からの要望等を取り入れ、木工関係職業への従事を目指し「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 働くことの意義を理解させ、作業に対する姿勢や集団への適応能力を高める。
- 2 著らしの中での木材の役割を理解させるとともに、原材料の特徴・性質を知り、木材の長所を生かした製作方法を身に付けさせる。
- 3 簡単なスケッチや図面を見たり書いたりすることができるようとする。
- 4 工具類の名称を知り、危険度を認識した上で、安全に正しく扱うことができるようとする。
- 5 様々な接合材料や塗料の使用目的、重要性を知り、目的に応じた組立・塗装ができるようとする。
- 6 機械類の危険度を認識し、指導者の指示に従い作業の補助ができるようとする。
- 7 工具や材料の片付けや清掃を積極的に行う態度を身に付けさせる。

[染色]

染色における指導に当たっては、本県の伝統工芸の一つである紅型を基本とした製作を通し、郷土の工芸に触れ、関心を高めるとともに、染色物の役割、取り扱い用具の名称、使い方並びに安全管理に留意することが大切である。

社会自立、職業自立を図るために、現場実習後の各事業所からの要望等を取り入れ、染色における「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 沖縄の伝統工芸の一つである紅型に触れさせ、染色物への興味・関心を高める。
- 2 日常生活の中の染色物の役割を理解させ、取り扱い方を分からせる。
- 3 取り扱い用具類の名称及び使い方を理解させ、安全に留意する態度を育てる。
- 4 働く意義を理解させ、指導者の指示に従って忍耐強く作業する態度を育てる。
- 5 染色は、きめ細かな作業であることを理解させ、集中して取り組み、丁寧に仕上げることを理解させる。
- 6 共同製作を通し、染色技法の「基礎的・基本的指導事項」の定着を図るとともに協調性、責任感、創造力、成就感を味わわせる。

〔皮革〕

職業自立に必要なこととして働く姿勢、集団への適応、安全作業の確認、初步的な工具類の使用法及び技能の習得を重視しながら、皮革の製作の技能や取り扱い方を通して、物を大切にする心の育成を図る。

社会自立、職業自立に向けて現場実習等も考慮に入れながら皮革における「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 身近な工芸品である皮革についての興味・関心を持たせる。
- 2 取り扱う材料、工具・用具等の名称や使用方法を理解させ、安全に取り扱う態度を養う。
- 3 製作工程が理解でき、技能の習得ができるようにする。
- 4 作業にふさわしい服装ができ、常に清潔を保つことができる。
- 5 働く意義や目的を理解させ、指示や自らの考えで忍耐強く作業を進め、作品を丁寧に仕上げる態度を育てる。
- 6 実習室における整理・整頓ができる態度を身に付けさせる。
- 7 時間のけじめを大切にする態度を育てる。

[木工]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 学習時間	○ 現在の学習と将来の職業自立が結び付いていることを理解する。	○ 学習に意欲的に取り組むことができる。
	(2) けじめ	○ 一般社会の職場でも出勤時間や昼休み等、時間的規則があることを知る。	○ 授業時間と休み時間の区別ができる。
	(3) 服装	○ 実習着の必要性を理解する。	○ 実習着をきちんと着用することができる。
	(4) 安全作業	○ 実習室には様々な危険を伴う機械があることを理解する。 ○ 実習中は、集中力を持ち、慎重に作業を進める必要性を理解する。	○ 実習中は、教師の指示に従う。 ○ 実習中は、おしゃべりをせず集中して作業に打ち込める。
	(5) 整理・整頓	○ 実習における整理・整頓の重要性を理解する。	○ 工具や材料の片付けや清掃が積極的に行える。
2 木材	(1) 著らしと木材	○ 人々の暮らしの中で木材を利用した様々な製品があることを知る。	
	(2) 木材の特性	○ 木材の長所と短所を知る。	○ 木材の長所を生かした構想が立てられる。
3 設計	(1) 構想とスケッチ	○ 物を作る前には、機能や構造をまとめる必要性を理解する。 ○ 第三角法による正投影図の用い方を理解する。	○ 簡単な構想を立てることができる。 ○ 簡単な立体図を見て正面図、平面図、側面図をスケッチすることができる。
4 工具	(1) 各種工具の取り扱い	○ 工具類の重要性を知り、危険度を理解する。 ○ 様々な工具の名称、使用方法を理解する。 ○ m, cm, mmの意味を理解する。	○ 目的に応じて工具を安全に使用できる。 ○ 正しい姿勢で工具を扱うことができる。 ○ 物の長さ、幅、厚さの位置確認ができ計測できる。
5 組立	(1) 接合材料	○ 様々な接合材料の名称、使用方法を理解する。	○ 目的、強度によって釘やネジの使い分けができる。 ○ 目的に応じて、ボンドやのりを適量に使用できる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
6 塗 料	(1) 塗料の特性と取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペンキやシンナー等、塗料は有害であることを知る。 ○ 塗料の種類を知る。 ○ ニス塗りの種類を知る。 ○ 着色材の使用目的を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 塗料作業中は、換気に気を付けて、作業ができる。 ○ 目的に応じて塗料の使い分けができる。 ○ ニスの粘度に応じて薄め液を混ぜることができる。 ○ 目的に応じて、ハケ塗りやタンポン塗りの使い分けができる。 ○ 目的に応じて、着色材を使用できる。
7 機 械	(1) 各機械の特性と認識 (2) 機械類の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機械運転中は、大事故につながる恐れがあることを理解する。 ○ 彫刻機の刃の種類を知る。 ○ ボール盤の使用目的を理解する。 ○ 糸のこ盤の使用目的を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者の指示に従い、各機械での作業の補助ができる。 ○ 彫刻機の刃の向きを考え、正しい姿勢で使用できる。 ○ 目的に応じて刃の使い分けができる。 ○ ボール盤にて正確な穴あけができる。 ○ ドリルの取り外しができる。 ○ テーブルの操作ができる。 ○ 糸のこ刃の取り付けができる。 ○ 直線、曲線切りができる。

[染色]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習中の心構え	(1) 態度	○ 積極的に授業に参加することが大切であることを知る。	○ 興味・関心をもち積極的に授業に参加することができる。
	(2) 安全	○ 様々な材料、道具を扱うので慎重に作業を進めることを知る。	○ 教師の指示に従い、安全に気を配りながら、集中して作業することができる。
	(3) 服装	○ 実習着の必要性を知る。	○ 実習着をきちんと着用し、実習に参加することができる。
	(4) 時間のけじめ	○ 一般社会の現場でも時間的規則があることを知る。	○ 授業時間と休み時間のけじめをつけ、行動することができる。
2 染色と生活の結び付き	(1) 染色物の役割	○ 日常生活の中には多種多様な染色作品があり、生活に潤いを与えることを知る。	○ 多種多様な染色作品があることを知り、実際に着用したり、使用したりすることができる。
	(2) 紅型について	○ 沖縄の代表的な伝統工芸品の一つとして紅型があることを知る。	○ 紅型を通して、本県の伝統工芸に触れ、関心を持つことができる。
3 材料と用具	(1) 材料、用具の名称及び取り扱い方	○ 材料、用具の名称を知る。 ○ 材料、用具の特性を知る。 ○ 材料、用具の後片付けの必要性を知る。	○ 材料、用具の名称を覚え、用途に応じて取扱いに注意しながら、使用することができる。 ○ 材料及び用具は、使用したらきちんと片付けることができる。
	(1) 紅型	○ 紅型の工程を知る(型染め・筒引き) ○ 共同製作を通し、協調性、意欲、集中力の大切さが分かる。	○ 各々の染色の工程を指示に従い行うことができる。 ○ 共同製作を通し、皆と協力し集中して作品に取り組むことができる。 ○ 各々の染色の工程に積極的に取り組み、責任をもって仕上げることができる。 ○ 作業中に支障が起きた場合は教師に報告し指示を受け、行動することができる。
	① 図案 ② 型置き (筒引き) ③ 色差し ④ 糊伏せ ⑤ 地染め ⑥ 水元		
4 製作工程	(2) 絞り染め	○ 絞り染めの工程を知る。 (巻き絞り)	
	① 糊括り		

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
5 色 彩	② 染 色 ③ 蒸 し ④ 水 元 (1) 色名及び色彩の取り扱い方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般的色名、染色特有の色名があることを知る。 ○ 染色方法によって色材が異なることを知る。 ○ 染色方法によって「色作り」の方法が異なることを知る。 ○ 各々の色材が特性に応じ、保管や管理の仕方が異なることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色名を覚え、製作中に活用することができる。 ○ 染色方法によって、各々の色材を準備することができる。 ○ 指示に従い「色作り」をすることができる。 ○ 各々の色材を特性に応じ保管、管理することができる。
6 鑑 賞	(1) 作品の鑑賞 (2) 染色物の取り扱い方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習で製作した作品を鑑賞し、反省、まとめることの重要性を知る。 ○ 沖縄の代表的伝統工芸を鑑賞することの重要性を知る。 ○ 染色物の保管、管理には、その特性により特別な注意を払う必要があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作した作品をお互いに鑑賞し、次回の製作に向けて前向きに意見や反省等を述べることができる。 ○ 伝統工芸の紅型に関心を持ち、鑑賞することができる。 ○ 染色物の特性を知り、指示に従い保管、管理をすることができる。
7 整理・整頓	(1) 教室の整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業終了後の教室の片付けの大切さを知る。 ○ 教室を常に整理・整頓することが安全への注意や次回の授業の準備につながることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業終了後、教室の清掃をすることができます。 ○ 安全面を考えながら、次回の授業の準備をし整理・整頓することができる。

[皮革]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 態度	○ 現在の学習で得たことが将来の社会生活に役立つことを理解する。	○ 学習に意欲的に取り組むことができる。
	(2) 時間のけじめ	○ 一般社会の職場でも出勤時間、昼休み時間等に関する規則があることを理解する。	○ 授業時間と休み時間のけじめをつける。
	(3) 服装	○ それぞれの仕事に応じた服装があることを理解する。	○ 実習着をきちんと忘れずに着用することができる。
	(4) 安全	○ 作業を通して使用する機械・器具には、危険を伴うものがあり、正しい使用方法を理解する。 ○ 実習中は、集中力を持って、慎重に作業を進めることの必要性を理解する。	○ 指示に従い、安全に用具を取り扱い作業を進めることができる。 ○ 集中して作業活動を進めることができる。
	(5) 整理・整頓	○ 実習における整理・整頓の必要性を理解する。	○ 工具や材料の片付けに気を配ることができる。
2 皮革工芸	(1) 革の性質	○ 皮革の歴史を理解する。 ○ 生活の中の皮革製品を知る。	○ 説明を静かに聞くことができる。 ○ 生活の中で使用されている皮革製品の発表ができる。
	(2) 革の種類	○ 革の種類を理解する。 ○ 革の特徴を理解する。 ○ 革の単位を理解する。 ○ 用途により皮の種類を選別することを理解する。	○ 革の特徴を発表することができる。 ○ 革の厚さが区別できる。
	(3) 材料、工具、用具の名称	○ 材料、工具、用具の種類や名称が分かる。	○ 工具類、用具類の準備ができる。
	(4) 材料、工具、用具の使用方法	○ 材料、工具、用具の正確な取り扱い方を理解する。	○ 工具類、用具類の正しい取り扱いができる。
3 製作工程	(1) 材料選択	○ 用途によって材料を選ぶことを理解する。	○ 用途により革の選別ができる。
	(2) 採寸	○ 定規の使い方を理解する。	○ 正確に丁寧に採寸ができる。
	(3) 裁断	○ はさみ、カッターの使い方を理解する。	○ 安全に気を付けて、正確に丁寧に裁断ができる。
	(4) デザイン	○ デザインを工夫することができる。	○ 自由にデザインができる。 ○ トレッシングペーパーにデザインを写すことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 評価・反省	(5) 図案写し	○ 図案を革にモデルで写すことを理解する。	○ モデルの使い方ができる。 ○ 革に丁寧に図案を写すことができる。
	(6) カービング	○ カットする部分を理解する。	○ 丁寧に、安全にスーパーカッターを使用できる。 ○ 輪郭線をカットすることができる。
	(7) スタンピング	○ 必要な刻印を理解する。 ○ 刻印工具を垂直に力を加え打つことを理解する。	○ 刻印工具を使用して、丁寧に模様を打つことができる。 ○ 刻印の形が全体に平均につくよう、打つことができる。
	(8) 染色	○ 染料の色名が分かる。 ○ 色々な種類の染色方法を理解する。	○ 染料の準備ができる。 ○ 好きな色で丁寧に染色ができる。 ○ 淡い色から、濃い色へ染色ができる。
	(9) 裏張り	○ 裏張りの必要性を理解する。	○ 丁寧に裏張りができる。
	(10) 縁かがり	○ 針の使い方、かがり方の方法を理解する。	○ 丁寧に、正確な縁かがりができる。
	(11) 金具付け	○ 金具の種類を理解する。	○ 丁寧に、正確に金具付けができる。
	(12) 仕上げ剤	○ 色止め、光沢出し、水や汚れからの保護の必要性を理解する。 ○ 完成作品に対する自己評価ができる。	○ 色止め剤、光沢出し剤を丁寧に塗ることができる。 ○ 自己評価の結果を次の製作へ、つなぐことができる。

家 庭

家 庭
縫 製

クリーニング

パソコソ



(1) 家庭の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

家庭生活に必要な知識、技能を高め家庭生活の意義を理解させるとともに、家庭生活及び関連する職業についての興味・関心を養う実践的態度が大切である。

家庭生活を営むうえで必要な基礎的・基本的知識と技能についてみると、小学校第5学年、第6学年の学習指導要領「家庭」に網羅されている。これを基本に捉え、さらに、中学校指導要領「技術・家庭」及び高等学校学習指導要領「家庭一般」の内容、盲学校、^{ろう}聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説一養護学校（精神薄弱教育）編一「家庭の具体的内容」を加味して家庭生活に必要な「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 家庭における家族の仕事や役割を理解させ、男女が協力して家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。
- 2 小遣い帳（貯い帳、家計簿）の仕方の学習を通して金銭感覚を養う。
- 3 家庭電化製品の安全で適切な取扱いと簡単な手入れができるようにする。
- 4 食事と健康について理解させ、栄養のバランスを考えて自分や家族の食事を整えることができるとともに、社会人として必要なマナーを身に付けさせる。
- 5 日常着の選び方と着方及び手入れ（洗濯、補修等）と保管の仕方を理解させ、適切な被服管理ができるようにする。
- 6 被服製作の学習を通して縫製に関する知識と技能を身に付けさせる。
- 7 将来の結婚生活への理解と自覚を育て、妊娠、出産、育児等について自己管理ができる態度を育てる。

[家庭]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装 (2) 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理の際の身仕度の必要性が理解できる。 ○ グループで協力して能率的に仕事をすることの大切さが理解できる。 ○ 忍耐強く最後まで仕上げることの大切さが理解できる。 ○ 実習の反省をすることの必要性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習前に手を洗うことができる。 ○ 実習着を身に付けることができる。 ○ 共同作業を通して、責任感を持ち協力して作業をすることができる。 ○ 作品を仕上げることの喜びを知り、仕事への自信を持つことができる。 ○ 実習の反省をし、感想を記録することができる。
	(3) 安全 (4) 整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理用熱源及び家庭用電気機器の安全な取り扱いができる。 ○ 用具類を清潔にして、所定の場所に収納することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示に従い、安全に気を配りながら集中して作業することができる。 ○ 能率的な作業を行うため、用具類を所定の場所に収納できる。
被服			
1 裁縫用具	(1) 用具の使用目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裁縫用具の名称及び使用目的に応じた取り扱い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裁縫用具を用途に応じて適切に使うことができる。
2 基礎技能	(1) 手縫い (2) ミシン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 布、針、糸の関係が分かる。 ○ 手縫い及びミシン縫いの基礎的な技能が分かる。 ○ ミシンの基礎操作を理解して、直線縫いの仕方が分かる。 ○ 各種ミシン操作が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手縫いが用途に応じて適切にできる。 ○ ミシンを正しく操作して、直線縫いができる。 ○ 各種のミシン操作ができる。
3 製作	(1) 作品製作	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な被服製作の作業工程が分かる。 ○ 製作品に適する布の材質が分かる。 ○ 簡単な作品の作り方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業工程に従って、各種ミシンを使用し、簡単な被服を製作することができる。 ○ 製作品に適した布地などを選ぶことができる。 ○ 手縫いやミシンを使用して簡単な作品を作ることができる。
4 被服整理	(1) 衣服の着方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の働きが分かる。 ○ 季節と目的に応じた着方と選び方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の働きを考えて、季節目的に合わせた着方ができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
食物 1 食物と栄養 2 献立 3 調理実習	(2) 洗濯	○ サイズ・デザインなどを考え選ぶことが分かる。	○ 自分のからだに合った衣類を選ぶことができる。
		○ 衣類の汚れを知り、洗濯の必要性が分かる。	○ 衣服の品質表示を見て、手洗いや電気洗濯機を利用して下着や日常着の洗濯ができる。
		○ 品質表示や取り扱い表示を見て、衣服に合った洗濯の仕方が分かる。	○ 衣服に適した温度でアイロンができる。
		○ いろいろな衣服のたたみ方や収納、保管の仕方が分かる。	○ 洋服、和服のたたみ方ができる。
		○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 衣服等を工夫して収納や保管をすることができる。
	(3) 整理と保管	○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 衣類に適した防虫剤を使うことができる。
		○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 簡単なほこりびを直すことができる。
		○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 用途に応じたボタンのつけ方やひも通しができる。
		○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。
		○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。	○ 衣服や簡単な補修や、ボタンのつけ方、ひも通しの仕方が分かる。
	(1) 栄養素の種類と働き	○ 栄養素の種類とその働きが分かる。	○ 栄養素の種類と働きを関連付けることができる。
		○ 健康は食事と関係が深いことが分かる。	○ 健康を考え日常の食事と栄養に関心を持つことができる。
	(1) 献立と食品のバランス	○ 食品に含まれている栄養素が分かる。	○ 栄養を考えた食品の組合せができる。
		○ 献立の必要性が分かる。	○ 既製の調理品や簡単な調理を組み合せて、バランスのよい献立を考えることができる。
		○ 地域の献立と調理を理解できる。	○ 地域の献立と調理を理解できる。
	(1) 基礎的な調理操作	○ はかる、洗う、切る、加熱するなどの基礎的な調理操作が分かる。	○ はかる、洗う、切る、加熱するなどの基礎的な調理操作ができる。
	(2) 調理用具の扱い方	○ 調理用具の適切な取り扱いが分かる。	○ 調理用具を適切に使うことができる。
	(3) 衛生	○ 衛生的に調理することが分かる。	○ 調理用具、食器、食品を衛生的に扱い調理することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
		<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみの分別の仕方が分かる。 ○ 冷蔵庫の適切な使い方ができる。 ○ 生鮮食品の鮮度と加工食品の品質表示の見方が分かる。 ○ 炊く、ゆでる、煮る、焼く、炒める、揚げる等の調理法が分かる。 ○ 調味料、油脂について性質や取り扱いが分かる。 ○ 調理や器に応じた盛り付け方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみを分別し、処理できる。 ○ 冷蔵庫を適切に利用し、食品を保存することができる。 ○ 食品の品質に注意して、食品を買うことができる。 ○ 炊く、ゆでる、煮る、焼く、炒める、揚げる等の調理法ができる。 ○ 調味料や油脂を用途に応じて適切に使用することができる。 ○ 形よく彩りよく盛り付けることができる。
4 マナー	(1) 基本的なマナー	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各様式に応じたマナーを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食事のマナーを守り楽しく会食ができる。
住居			
1 住居の役割	(1) 家族と住居の役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族が生活する場としての住居の役割が分かる。 ○ 身の回りの整理・整頓や清掃の適切な仕方が分かる。 ○ 気候の変化に対する住まい方の工夫が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収納の仕方を工夫し、部屋の整理・整頓ができる。 ○ 室内の換気に注意して、冷暖房用機器を安全に適切に取り扱うことができる。
2 家庭電化商品	(1) 家庭電化製品の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部屋を明るくする工夫や、照明の仕方とその器具の取り扱いが分かる。 ○ 電気掃除機の使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 照明器具の電球、蛍光灯の器具の手入れや交換ができる。 ○ 電気掃除機を使って部屋を掃除することができる。
家庭経営			
1 家庭の機能	(1) 家庭の働き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族協力によって、よりよい家庭生活が営まれることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の一員として、自分の立場や役割を自覚できる。
	(2) 家族の仕事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭における家族の仕事や役割が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の分担する仕事を工夫して行い、家庭における仕事に協力することができる。
	(3) 日常の作法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円滑な人間関係のための日常生活の基本的マナーが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円滑な家庭生活、社会生活を送るために基本的なマナーを身に付けることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
2 家庭経済	(1) 家庭の経済と消費	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物をする際に予算はいくらか、どのくらい買うのかなどメモするとの大切さが分かる。 ○ 計画的な金銭の使い方と記録の仕方が分かる。 ○ 買い物時には、レシートの内容を確かめたり領収書を受け取ることが分かる。 ○ 品質表示やマークを理解し、品物の選び方が分かる。 ○ 家庭の収入と支出の意味や内容が分かり、無駄使いをしないで預金することの必要性が分かる。 ○ 通信販売やカードなどの長所と短所が分かる。 ○ 悪徳商法、クーリングオフの意味や内容が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画を立てて買い物のメモを作ることができる。 ○ 計画的な買い物の仕方が分かり、こづかい帳に金銭の収支を記録することができる。 ○ 金銭の収支を記録する時に、レシートや領収書を利用したり保存したり綴ることができる。 ○ 表示やマークの見方が分かり品質の良い物を購入することができる。 ○ 収入と支出のつり合いがよいことが家庭生活の安定につながることに気付くことができる。 ○ クレジットカード、通信販売等をよく判断して利用することに気付くことができる。 ○ 消費者としての自覚が大切であることに気付くことができる。
保育			
1 思春期の健康	(1) 思春期の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思春期の生活と健康が結婚や保育の出発点となることを知る。 ○ 男女の身体的、精神的な違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女の心身の違いを正しく理解し、お互いに尊敬し合い、健全な交際ができる。
2 結婚と育儿	(1) 結婚の意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結婚の意義と条件が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結婚は、経済的な安定、精神的な結びつき、心身共に健康であることが大切であることに気付くことができる。
	(2) 保育の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康な子供を産み育てるためには、両親の健康と愛情が大切であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 両親の態度が、子供の健康と性格形成に影響することに気付くことができる。
3 母性の健康	(1) 妊娠と分娩の生理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠と分娩の生理が分かる。 	

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 乳幼児の特徴	(1) 乳幼児の心身の発達	○ 母体の健康が子供の成長に重要な関わりを持つことが分かる。	○ 健康な子供は、健全な母体から生まれることを理解し日常の健康管理に留意することができる。
		○ 乳幼児の身体の発育と生理的特徴が分かる。	○ 身体的発達と生理的特徴を考えて、乳幼児に関心を持つことができる。
		○ 乳幼児の栄養の特徴と食事の与え方が分かる。	○ 乳児の発達に応じた栄養を考えて、母乳の価値を知り、母乳で育てる意識を持つことができる。
		○ 母乳の栄養の特徴が分かる。	○ 乳幼児の栄養を考えて、簡単な離乳食を整えることができる。
	(2) 乳幼児の被服	○ 乳幼児の身体的・生理的特徴を考えた被服の種類が分かる。	○ 乳児服、幼児服の特徴に気付くことができる。
		○ 乳幼児の遊びの発達に果たすおもちゃの役割やおもちゃの選び方が分かる。	○ 乳幼児の遊びに応じたおもちゃの種類及び選び方に気付くことができる。
	(3) 遊びと児童文化財	○ 基本的生活習慣を幼児に身に付けさせることの重要性が分かる。	○ 基本的生活習慣を身に付けさせるために親の手助けが必要であることに気付くことができる。
		○ 健康な子供を育てるための親の役割が分かる。	○ 親になるものとしての意識を持つことができる。
	5 保育環境と家庭	○ 基本的生活習慣を幼児に身に付けさせることの重要性が分かる。	○ 基本的生活習慣を身に付けさせるために親の手助けが必要であることに気付くことができる。
		○ 健康な子供を育てるための親の役割が分かる。	○ 親になるものとしての意識を持つことができる。

(2) 縫製の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

縫製では、被服製作に必要な用具や機械の操作の学習を通して、製作作品についての基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、さらに生活していく上での衣生活における基本的な知識を理解させる。このことを踏まえ、小学校第5学年、第6学年の学習指導要領「家庭」を基本に捉え、さらに、中学校学習指導要領「技術・家庭」の内容、盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説—養護学校（精神薄弱教育）編一「家庭の具体的内容」を加味して縫製の基礎的・基本的指導事項を精選した。

- 1 製作を通して、縫製に関する基礎技能を重点的に習得させるとともに、成就感を味わわせ、意欲的に取り組む態度を育てる。
- 2 材料、用具、機械名称、適切で安全な取り扱い方を理解させ、基礎的な操作方法を身に付けさせる。
- 3 手縫い及び各種ミシンによる縫製の基礎技能を身に付けさせ、操作工程に従って能率よく作業を進める態度を育てる。
- 4 個人、グループ作業を通して集中力、持続力、責任感を育てる。
- 5 用具、機械の準備、後始末、手入れ、保管の習慣化を図り、実習室の清掃ができるようにする。

[縫製]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習内容に応じた服装で、実習を行うことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習に適するきちんとした服装で実習にのぞむことができる。
	(2) 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで協力して能率的に作業をすることの大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共同作業を通して、責任感をもち、協力して作業することができる。
	(3) 安全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 忍耐強く最後まで仕上げることの大切さを理解する。 ○ 裁縫用具の正しく安全な取り扱い方を理解する。 ○ ミシンの安全で適切な取り扱いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲をもって集中して、最後までやりとげることができる。 ○ 安全に気を配りながら、作業に必要な用具を正しく扱うことができる。 ○ ミシンの安全で適切な取り扱いができる。
	(4) 整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能率的に作業を行うために用具類を所定の場所に収納する必要があることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裁縫用具等をきちんと所定の場所に収納することができる。
2 用具	(1) 裁縫用具	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裁縫用具の種類及び名称を知り、用途に応じた使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作に必要な用具の種類や扱い方が分かり適切に使うことができる。
	(2) ミシン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習で使うミシンの種類、名称、使用目的、取り扱い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用途に応じてミシンを選び安全に留意して適切に取り扱うことができる。
3 基礎技能	(1) 手縫いの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手縫いの基礎的な技能が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用途に応じて適切な手縫いができる。
	(2) ミシン縫いの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミシン縫いの基礎的な技能が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直線ミシンを正しく操作し直線縫いができる。 ○ ジグザグミシンでかがり縫いや横様縫いができる。 ○ ロックミシンを使い裁ち目かがりができる。 ○ コンピュータミシンを使って模様や名前を刺繡することができる。 ○ 職業用ミシンを使って製品を縫うことができる。
4 製作	(1) デザインの考案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料や用途に応じてデザインを決めるなどを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用目的に応じて形、大きさ、材料を決めることができる。
	(2) 寸法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品に必要な採寸箇所とその採寸方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メジャーやは差しを使って正しく寸法を測ることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(3) 型紙選びと型紙作り (4) 地直し (5) 裁断 (6) しるしつけ (7) 縫製工程 (8) 仕上げ (9) 評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既製の型紙の必要な部分が分かる。 ○ 編織物の地直しの仕方が理解する。 ○ 作品に応じた型紙の配置の仕方や裁断方法を理解する。 ○ 作品に適した縫い代のつけ方が理解する。 ○ 作業工程に従って各種ミシンを使用し、作品を製作することを理解する。 ○ アイロンの安全な取り扱い方が分かる。 ○ 完成作品の評価方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 型紙の必要な部分を切り取ることができる。 ○ 編織物に適した方法で地直しすることができる。 ○ 型紙を配置し、裁断することができる。 ○ 製作に必要な縫い代をつけることができる。 ○ 作品の作業工程に沿って、作品を仕上げることができる。 ○ 材質に応じて、安全に留意し、適切にアイロンの取り扱いができる。 ○ 製作品の形（デザイン）を理解しアイロンをかけ仕上げることができる。 ○ 完成作品の評価ができる。

(3) クリーニングの「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

クリーニングでは、一連の作業工程の学習を通して、その職種に従事するために必要な最低限の知識、技能の定着を図り、衛生的な生活が営なめる態度を養成することを目指している。このことを踏まえ、中学校学習指導要領「技術・家庭」及び高等学校学習指導要領「家庭」盲学校、聾学校及び養護学校高等部学習指導要領並びに特殊教育諸学校高等部学習指導要領解説—養護学校（精神薄弱教育）編一「家庭の具体的内容」を加味し、「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 実習を行う上で必要な態度、指示、安全等を理解させ、実習に取り組む姿勢を養う。
- 2 クリーニングに用いる各種機械、材料の用途及び基本的操作法並びに安全な機械の使用、作業の進め方を理解させる。
- 3 公衆衛生に関する基礎的知識を理解させ、衛生とクリーニングのかかわりを分からせる。
- 4 日常生活において、クリーニングに関する事柄を分らせ、実生活で洗濯に取り組めるようにする。
- 5 水洗い（ランドリー）の工程、ドライクリーニングの工程の基本的な知識、技能を習得させる。

[クリーニング]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 服装	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習内容に応じた服装で、実習に臨むことが分かる。 ○ 積極的に授業に参加することが大切であることを理解する。 ○ 作業の厳しさを理解する。 ○ 作業を最後までやり遂げることの大切さが分かる。 ○ 作業中と休憩時間の違いを理解する。 ○ お互い助け合いながら作業に取り組み、連帯感を持つことの重要性を理解する。 ○ 指示を素直に聞き、内容を理解する。 ○ 指示に対して「できる」「できない」の判断が重要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で着替えができ作業に適した服装で実習に臨むことができる。 ○ 興味・関心を持ち進んで授業、実習に参加することができる。 ○ いやな作業でも忍耐強く取り組むことができる。 ○ 指示された作業を最後までやり遂げることができる。 ○ 私語を慎み、集中して作業に取り組むことができる。 ○ 協力して欲しいときは自分から協力を要請できる。 ○ 他の人が困っているときは進んで協力することができる。 ○ 「はい」「いいえ」がはっきり言える。 ○ 「できます」「できません」がはっきり言える。
	(2) 態度		
	(3) 指示理解		
	(4) 安全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な用具、材料等を扱うので慎重に作業を進めることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示に従い、安全に気を配りながら作業に取り組むことができる。
	(5) 能率	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機敏に行動することの大切さを理解する。 ○ 作業を迅速かつ丁寧に行うことの必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動作を機敏にして実習に取り組むことができる。 ○ 与えられた作業をできるだけ速く、丁寧に行うことができる。
	(6) 整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用具、材料等の整理、作業場の清掃が大切な作業の一つであることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用後の片付けができる、次の作業に向けての準備ができる。
2 クリーニングの学習	(1) 衛生的な生活	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服装の汚れの原因を知り、それが人体や周囲に与える影響を理解する。 ○ 汚れた服と清潔な服の違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体を清潔にできる。 ○ 洗うべき服を見分けることができる。 ○ 手洗いによる洗たくができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
3 ドライ・ランドリー共通	(2) クリーニングの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職業としてのクリーニング業があることを知る。 ○ クリーニングの対象となる被洗物の種類と主な繊維の種類が分かる。 ○ 衣服に組成表示や絵表示がついていることを知る。 ○ 衣服の種類によって保管やたたみ方が違うことを知る。 ○ クリーニングで使用する機械の名称と用途が分かる。 ○ クリーニングで使用する洗剤やドライ溶剤、シミ抜き剤の用途性質を知る。 ○ ポケット点検、シミの確認等の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主な被洗物の名前が言える。 ○ 綿とその他の繊維を見分けることができる。 ○ 衣服についている組成表示を見て主な繊維の分別ができる。 ○ 衣類についている絵表示を見てドライかランドリーかの分別ができる。 ○ 衣服の形状にあった保管やたたみ方ができる。 ○ 用途にあった用具の取り扱いや機械の簡単な操作ができる。 ○ 指示に従い安全に洗剤、溶剤、シミ抜き剤等の取り扱いができる。
	(1) 点 檢		<ul style="list-style-type: none"> ○ ポケットからの拾得物がどの被洗物のものなのかチェックし、保管することができる。 ○ ボタン、シミ、傷等の確認を責任者に報告できる。
	(2) マーキング	<ul style="list-style-type: none"> ○ マーキングの意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マーキングタグを適当な位置に付けることができる。
	(3) 分 類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被洗物の変色、色移りの防止のために色分けすることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被洗物の色分けができる。
	(4) 前処理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部分的な汚れ、シミを洗う前に処理することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被洗物を傷つけないように前処理することができる。
	(5) 洗 い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水洗機やドライ機には被洗物の投入量の制限があることを知る。 ○ ランドリーは水と洗剤を使った洗浄で、ドライクリーニングはドライ溶剤を使った洗浄であることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被洗物の数量の確認、大まかな重量の計量ができる。
	(6) 乾 燥	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被洗物に適した乾燥温度があることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全に気を付け、指示通りに乾燥機の操作ができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 ランドリー	(7) 仕上げ	○ しわを伸ばし、きれいに仕上げるためにプレスすることが分かる。	○ 安全に気を付けてプレス機を使用することができる。
		○ 各仕上げ機の用途が分かる。	○ 仕上げ機械に被洗物を正しくセットすることができる。
		○ 蒸気アイロンの長所、短所を理解する。	○ 蒸気アイロンを用いた手直しができる。
		○ 協力し合い仕上げ作業に取り組むことが分かる。	○ シーツ等大きな被洗物は協力して仕上げ作業に取り組むことができる。
		○ 仕上げ物の形を崩さずに保管、たたみを行うことを知る。	○ ハンガーかけ、たたみ、袋かけができる。
	(8) 配達・集金	○ 仕上げ被洗物と依頼者の確認をし、配達・集金をすることが分かる。	○ 仕上げた衣服と依頼者の確認ができる、指示通りに配達・集金ができる。
		○ 各工程の意味が分かる。	○ 指示に従って機械の操作ができる。
		○ 汚れを落とす工程が最も重要であることを理解する。	
		○ 水と洗剤の作用によって汚れが落ちることが分かる。	
		○ 被洗物の種類によって使用する洗剤の種類が異なり、被洗物の量により水、洗剤の量が決まるなどを理解する。	○ 指示に従って洗剤を選び、カップ等を用いて計量ができる。
5 ドライクリーニング	(1) 洗い	○ 漂白剤で被洗物を漂白することを知る。	○ 指示に従いつけおき洗い、水洗機への漂白剤の投入ができる。
	(2) 漂白	○ すすぎ	○ 手作業ですすぎをすることができる。
	(3) すすぎ	○ 被洗物にはりをもたせるために糊付けをすることを知る。	○ 手作業による糊付け、水洗機への投入ができる。
	(4) 糊付け	○ 被洗物に応じた脱水の方法、程度があることを知る。	○ 手を使って被洗物を絞ることができる。
	(5) 脱水	○ ドライクリーニングがほとんど水を使用しないことが分かる。	○ ドライ溶剤、ドライ用前処理剤を見分けることができる。
	(1) 溶剤の性質と管理	○ ドライクリーニングの長所、短所を理解する。	

指導項目	指導内容	基本的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(2) 洗い	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランドリーとは違い、溶剤の管理をしなければならないことを理解する。 ○ ドライ溶剤が汚れを落とす働きを分かること。 ○ ドライ機の中で溶剤が循環して使われていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指示に従いドライ溶剤、ドライ機の簡単な管理ができる。 ○ 指示に従い簡単なドライ機の操作ができる。

(4) パソコンの「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

職業自立に向けてパソコン（ワープロ）操作を身に付けさせ、文書の作成やソフトの指導ができるようにし、職業や日常生活での活用をねらいとして「基礎的・基本的指導事項」を選定した。

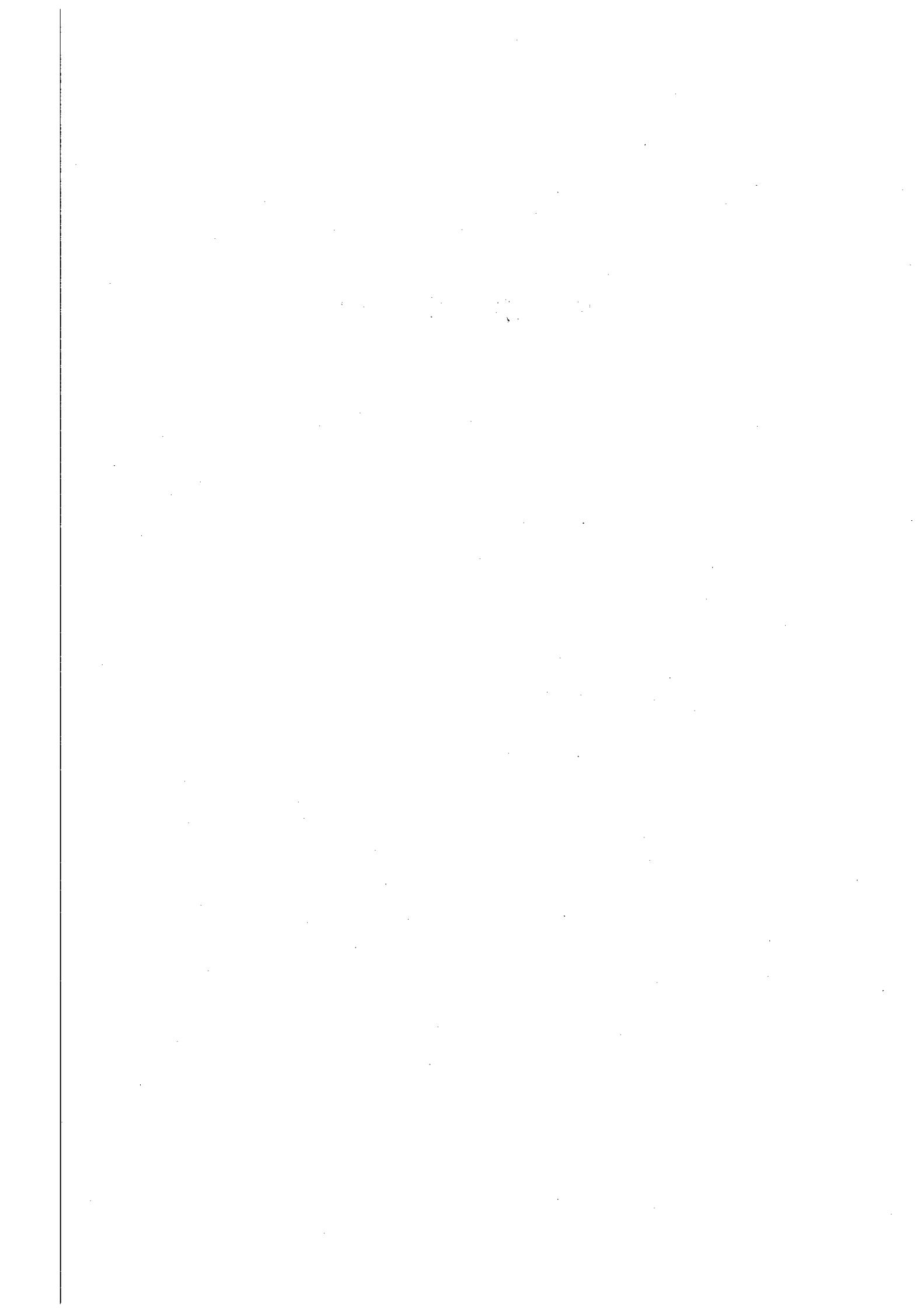
- 1 パソコン（ワープロ）の基本的なキーボードの名称と機能を理解させる。
- 2 パソコン（ワープロ）の始動と終了の仕方を習得させ基本的な操作ができるようにする。
- 3 文書作成ができるとともに、文書の保存と読み込みができるようにする。
- 4 情報機器やソフトの取り扱いが、正しく安全にできるようにする。
- 5 パソコンに関する知識、技能を習得させ、職業への適応能力の育成を図る。

[パソコン]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 実習の心構え	(1) 集中力・忍耐力	○ 集中して学習し、時間を無駄にせず、最後まで自分の文書を完成させる大切さを知る。	○ 集中して作業し、忍耐強く自分の文書を完成することができる。
2 安全	(1) 機器の取り扱い方法	○ 高価な機器を扱うので慎重に操作することを理解する。	○ 教師の指示に従い、安全に気を配りながら、集中して作業することができる。 ○ 特にパソコンを湿気から守ったり、磁気から離して機器の保全に努めることができる。
3 機器操作	(1) 機器操作のマニュアル	○ 機器操作に当たっては、取り扱いが詳しく説明されたマニュアル本や、特に多く普及している機種やソフトには、よく使う機器を中心にその機能が簡単に説明されたサブマニュアル本が市販されていることを知る。	
	(2) パソコン（ワープロ）はどんな機器なのか	○ 現在色々な事務をするにはパソコン（ワープロ）で文章をまとめたり、計算したりするのが主流であることを知る。	
	(3) キーボードの名称と機能	○ パソコン（ワープロ）はキーボードで操作して活用することを知る。	○ パソコン（ワープロ）のよく使用するキーの名称が言える。
	(4) ソフトとは何か	○ パソコンは、ソフトによって始めて機能することを知る。	○ ソフト（フロッピーディスク）の取り扱い上の注意点に留意しソフトを起動させることができる。
	(5) ワープロ（パソコン）の始動と終了	○ ソフトはきちんと起動し、終了しないとデータ破壊することがあることを知る。	○ ソフトを正しく起動し、終了できる。
	(6) 文字入力の方法	○ ワープロ（パソコン）の入力する方法には、ローマ字入力とカナ入力があることを知る。 ○ ローマ字入力とカナ入力の切り替え方法を知る。	○ ローマ字入力とカナ入力の切り替えができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
	(7) 短文の作成 (8) 漢字変換方法 (9) 誤った文字の削除、訂正方法 (10) 各種記号の入力方法 (11) アルファベット文字の入力と英大英小の選択方法 (12) 数字の入力方法 (13) 文書の保存と読み込みの方法 (14) プリントアウト（印刷）	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーボードのホームポジションを基本にすると効率よくスムーズに入力できることを知る。 ○ 漢字に変換する方法を知る。 ○ バックスペースキーには文字を消したり、文字を左に寄せたりする機能、削除キーには文字を消す機能があることを知る。 ○ 各種記号を入力する方法を知る。 ○ キャップスキーで英大、英小の選択ができることを知る。 ○ テンキーには、数字を入力する機能があることを知る。 ○ 文書フロッピーに作成した文書を保存して残し、また文書を読み出して書き直すことができる事を知る。 ○ 作成した文書を接続したプリンターでプリントアウト（印刷）できることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字入力ができ、必要に応じて句読点を打つことができる。 ○ ひらがな文字を漢字に変換できる。 ○ スペースキーと削除キーで文章を消したり、削除したりできる。 ○ 各種記号を入力できる。 ○ 英大文字、英小文字の入力ができる。 ○ テンキーで数字を入力できる。 ○ 文書フロッピーに文書を保存しまた保存した文書の読み込みができる。 ○ プリンターを使って文書をプリントアウト（印刷）できる。 ○ 最終的に自分で文章が作られ、それをフロッピーに保存し、読み出しへ、文章を校正し、でき上がった文章をプリントできる。 ○ 教師の指示に従い、機器を終了させ、特にソフトを大切に保管できる。
4 整理・整頓	(1) 整理・整頓		

II 進 路 指 導



1 進路指導の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

進路指導は、生徒個々の能力・適性、興味・関心、性格に配慮し、卒業後は確実に就労が可能になり、一定の職場に定着できるように各教科、領域等の教育活動を通して計画的な進路指導の充実を図るとともに、実践していくことが大切である。

就労に必要な指導事項については、現場実習終了後の各事業所からの要望、生徒の実習日誌、引率教師の反省等の中から、将来の職業自立に必要な「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 社会生活を営む上では、好ましい人間関係、身だしなみ、規律ある生活態度を育てる。
- 2 通勤・退勤においては、交通機関の利用等、安全に留意する態度を育てる。
- 3 挨拶、言葉遣い、礼儀作法等を身に付けさせる。
- 4 就労する上で、最も重要な持久力、集中力、責任感、協調性等を育てる。
- 5 金銭の価値を理解させ、計画を立て有効に金銭の活用ができる態度を育てる。
- 6 自己の健康、維持増進に努め職場における安全・きまりを守る態度を育てる。

[進路指導]

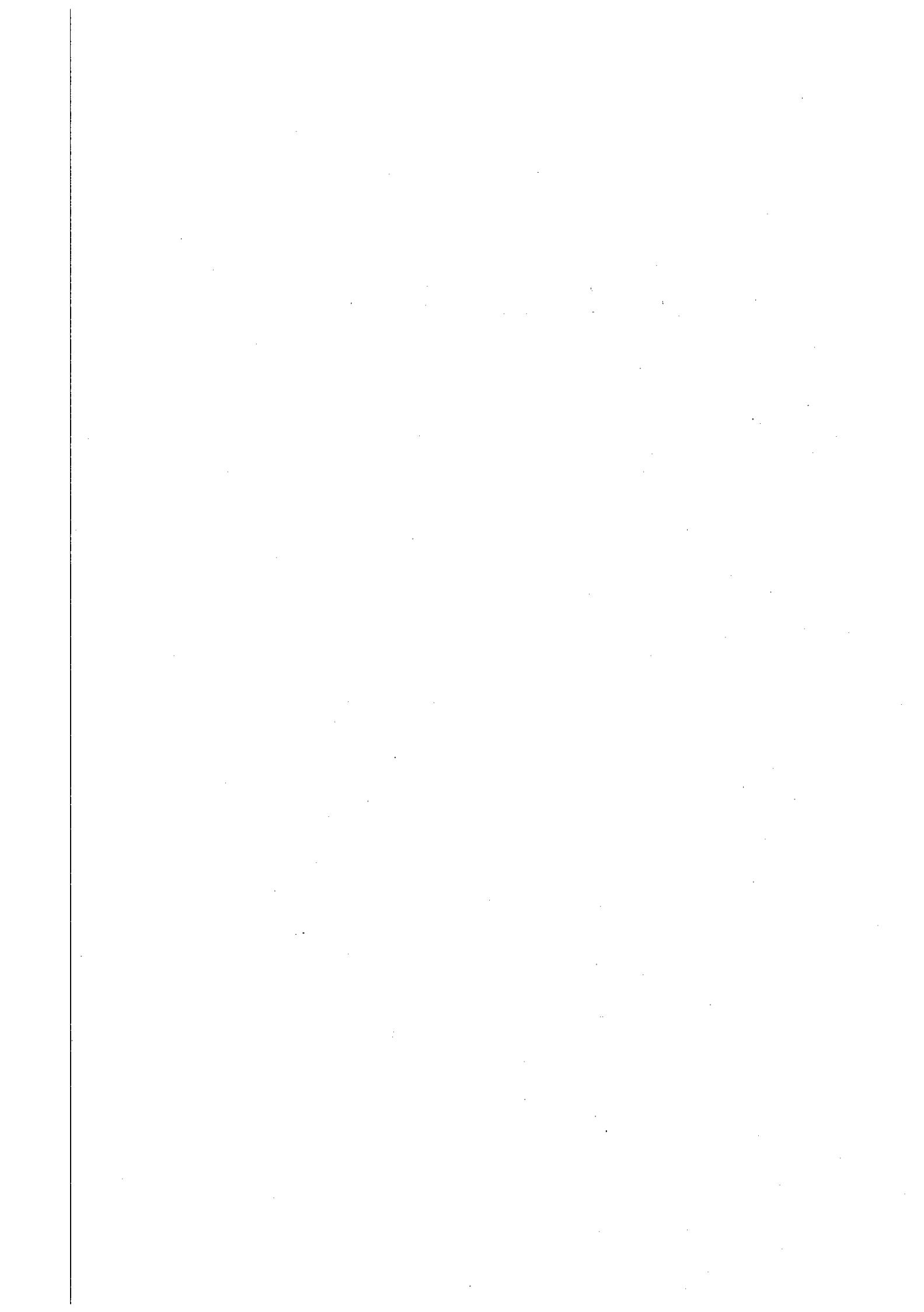
指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 礼儀作法	(1) 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「場に応じた」挨拶が分かる。 ○ 目上の人に対する挨拶の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞こえるように」きちんと、「場に応じた」挨拶ができる。 ○ 礼儀正しく、進んで挨拶することができる。
	(2) 言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粗暴な言葉を謹むことの重要性を理解する。 ○ 「場に応じた」言葉遣いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手を傷つけるような言葉遣いはしない。 ○ 「場に応じた」丁寧な言葉遣いができる。
	(3) 身だしなみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「場に応じた」服装を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身だしなみに关心を持ち清潔感を保持することができる。
	(4) 応対	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目上の人への応対の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「訪問者」に対して、礼儀正しく応対することができる。
2 規則正しい生活	(1) 時間のけじめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間を守ることが仕事や人間関係に大きく関わってくることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時計を見て行動することができる。 ○ 時間を予測することができる。 ○ 約束を覚えてメモし、行動することができる。
	(2) きまり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「きまり」の意味を理解する。 ○ 就業規則を理解する。 ○ 秩序を守ることの重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ きまりを守ることができる。 ○ 就業規則を守り、仕事に取り組むことができる。 ○ 職業人として、社会の秩序を守ることができる。
	(3) 準備と後始末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備の必要性を理解する。 ○ 準備をきちんとすることを理解する。 ○ 後始末をきちんとすることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服装、持ち物を準備することができる。 ○ 作業の前に服装を整え、用具の準備がきちんとできる。 ○ 作業の後始末がきちんとできる。
	(4) 生活態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の物と他人の物との区別が分かる。 ○ 整理・整頓の大切さを理解する。 ○ 誘惑に負けない強い心が大切であることを理解する。 ○ 規則正しい生活習慣の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共物や所有物を大切に扱うことができる。 ○ 身の回りの整理・整頓ができる。 ○ 社会悪に誘惑されることなく、強い態度で臨むことができる。 ○ 規則正しい生活習慣を身に付けて職業生活に順応することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
3 健康・安全	(1) 作業の安全	○ 注意を怠ると事故が起きることを理解する。	○ 注意されたことを忠実に守ることができる。
		○ 危険度の高い機械器具、危険箇所が分かる。	○ 安全作業に心がけて、作業内容に応じた対応をすることができる。
		○ 事故の起きた場合の対応の仕方が分かる。	○ 事故発生時に対する冷静な処置、対応ができる。
	(2) 健康の保持	○ 健康に関する簡単な用語を理解する。	○ 体調不良の場合、適切に告げることができる。
		○ 体調の良、不良を理解する。	○ 健康状態を知り、就労との関係を判断することができる。
		○ 健康と日常生活及び環境との関わりを理解する。	○ 身の回りを清潔に保ち、気候に応じた衣服の着用ができる。
	(3) 交通安全マナー	○ 交通安全を守る必要性を理解する。	○ 交通安全に気を配り、信号機や横断歩道を利用することができる。
		○ 交通機関の利用の仕方が分かる。	○ 交通安全に気を配り、路線バスやタクシーを利用することができる。
4 物、金銭の活用	(1) 働く意義	○ 働く意義について理解する。	○ 将来の就労に希望を持ち、進んで仕事に取り組むことができる。
		○ 職種に差別の無いことを理解する。	○ 能力適性を生かして、進んで働くことができる。
		○ 社会人として職業を持つことが自己の第一歩だと考えることが分かる。	○ 働くことが生活維持の基本だと考え、仕事に取り組むことができる。
	(2) 賃金	○ 賃金の意味が分かる。	○ 就労を重んじ、忍耐強く仕事に取り組むことができる。
		○ 金銭の大切さを理解する。	○ 賃金（報酬）を計画を立て有効に使うことができる。
		○ 生活設計の重要性を理解する。	○ 将来の経済生活のため貯蓄することができる。
5 人間関係	(1) 聞く態度	○ 話の内容を理解する。	○ 落ち着いて話を聞くことができる。
		○ 就労に関する用語を理解する。	○ 理解の困難なことについては、進んで質問することができる。
		○ メモ帳の活用が分かる。	○ 聞いた話の概要をメモし、伝達することができる。
		○ 聞いた話を建設的に理解する。	○ 広く社会事象に関心を持ち、マスコミから見聞を広めることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
6 働く態度	(2) 協調性	○ 就労する上で最も重要なことは人間関係だということを理解する。	○ 職場の仲間と会話を交わすことができる。
		○ 集団の一員としての自覚を持つことを理解する。	○ 誰とでも明るく接することができる。
		○ 協力することの重要性を理解する。	○ 他人に迷惑をかけぬよう行動を謹むことができる。
		○ 他人の立場を理解する。	○ 雰囲気に慣れるよう努力することができる。
		○ 必要なときは、進んで協力を要請することの重要性を理解する。	○ 進んで協力することができる。
	(4) 報告	○ 報告する意味が分かる。	○ 必要に応じて声を掛け合いながら仕事をすることができる。
		○ 報告すべき事項を理解する。	○ 作業に応じて協力しあうことができる。
	(5) 指示理解	○ 報告の仕方が分かる。	○ 仕事に関する伝言を報告することができる。
		○ 指示の内容を理解する。	○ 進んで報告することができる。
		○ 指示に対して、対応の仕方が分かる。	○ 正しい表現、はっきりした口調で報告することができる。
		○ 指示に対して、事後処理の仕方が分かる。	○ 「分かる」「分からぬ」の返事がはっきりと言え、分からぬときは質問ができる。
		○ 体力の重要性を理解する。	○ 作業を終えたら、結果を報告することができる。
	(1) 体力の向上	○ 就労と体力の関係を理解する。	○ 進んで体力をつけようと努力する。
		○ 職種と体力の関係を理解する。	○ 体力に応じて仕事に取り組むことができる。
		○ 作業能力が分かる。	○ 希望する職種に応じた体力をつけようと努力することができる。
		○ 仕事は速さと正確さが要求されることを理解する。	○ 自己のできる仕事量を予測することができる。
		○ 集中度と作業能率の関係を理解する。	○ 指示に従い正確に仕事ができる。
	(2) 作業能力		○ 作業に集中して取り組むことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
	(3) 意欲 (4) 集中力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業能率が個人の評価にもつながることを理解する。 ○ 仕事には、意欲的な姿勢が要求されていることを理解する。 ○ 仕事の厳しさを理解する。 ○ 集中力の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 向上心を持って仕事に取り組むことができる。 ○ 働く喜びを知り、進んで仕事に取り組むことができる。 ○ 仕事の内容に対して質問し、指示通りに取り組むことができる。 ○ 与えられた仕事を最後までやり遂げ、終了の報告ができる。 ○ 一定時間、継続して仕事をすることができます。 ○ 持ち場を離れずに、仕事に取り組むことができる。

III 生活指導



1 生活指導の「基礎的・基本的指導事項」を選定するに当たって

生活指導は学校生活、寄宿舎生活全般を通して、将来の社会自立、職業自立を目指し、日常生活、社会生活の場に必要な基本的な生活習慣を身に付けさせるための「基礎的・基本的指導事項」を精選した。

- 1 身体の清潔、整理・整頓、健康管理、安全管理等を一日の生活の中で身に付けさせる。
- 2 望ましい異性との交際の仕方を身に付けさせる。
- 3 余暇利用、時間の有効な活用の仕方を身に付けさせる。
- 4 挨拶や言葉遣い、電話、訪問など、社会生活を営む上で必要な事柄や他人とのかかわり合い方など、好ましい人間関係を育てる。
- 5 社会人として守るべき社会規範やマナーを身に付けさせる。
- 6 金銭管理等については、貴重品、所持金等の自己管理ができる能力を育てる。
- 7 学校生活、寄宿舎生活を通して、適切な自治活動の育成を図る。

[生活指導]

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
1 身だしなみ	(1) 身体の清潔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身体を清潔にすることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常に体を清潔にことができる。
	(2) 服装、履物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏、冬服、ネクタイ、ループタイの正しいつけ方が分かる。 ○ 場に応じた服装をすることが分かる。 ○ 外ばき、内ばき等、靴の履き方が分かる。 ○ 材質に応じ、靴の手入れの意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 頭髪を清潔にことができる。 ○ 場に応じた服装を身に付けることができる。 ○ 衣服を清潔にことができる。 ○ 外ばきと室内ばきの靴を区別して履くことができる。 ○ 靴の踵を折らずにきちんと履くことができる。 ○ 汚れたら、材質に応じて拭く、みがく、洗うなど、靴の手入れができる。
2 礼儀作法	(1) 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師、来訪者に元気よく挨拶や返事、対応ができる。
	(2) 返事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いかけに対する返事の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員室、準備室等への入退室の際にきちんと挨拶ができる。
	(3) 言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧な言い方、目上の人への敬語、お願い等、正しい言葉の使い方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いかけに応じて、「はい」「いいえ」「わかりました」「わかりません」等の返事ができる。
	(4) 便り	<ul style="list-style-type: none"> ○ 礼状、暑中見舞、年賀状の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友人、先生、目上の人に対して、正しい言葉遣いができる。 ○ 礼状、季節の挨拶、年賀状の挨拶等を、はがき、手紙で書くことができる。
3 整理・整頓	(1) 身辺の整理・整頓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身辺のきちんとした整理・整頓が、学習、仕事などの能率的運用につながることが分かる。 ○ ロッカーの扉の開閉を静かにする意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机の中、引き出しの中、ロッカーの整理・整頓ができる。 ○ 脱いだ衣服をたんんだり、ハンガーにかけることができる。 ○ ロッカーの扉を静かに開閉することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
4 経済生活	(1) 買い物	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の意義と計画が分かる。 ○ お金の価値と種類が分かる。 ○ 所持金が分かる。 ○ 店舗、目的に合わせて買い物の仕方が分かる。 ○ 所持金に合わせて、計画的に金銭等を使うことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的にお金を使うことができる。 ○ 品物の代金を計算し、支払うことができる。 ○ つりがあれば、いくらか計算し、つり銭の確認ができる。 ○ 店舗に合わせて買い物ができる。 ○ 決められた予算で買い物ができる。 ○ メモして買い物をすることができる。 ○ 外食時に予算に応じて自分で注文できる。
	(2) 小遣いの記帳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金銭処理 収入－支出＝残高の意味が分かる。 ○ 収入と支出の関係を理解する。 ○ 出納簿の記入の仕方が分かる。 ○ 節約の大切さが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物帳に、買った品物名、代金、おつり、残金等をきちんと記入し、記録をつけることができる。 ○ 計算が正確にできる。
	(3) 貴重品、所持金の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貴重品、所持金等を管理することができる。 ○ テレホンカード等が現金と同じであることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金銭（小遣い、テレホンカード）の自己管理ができる。
	(4) 節電・節水	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電、節水の意味が分かる。 ○ 資源の有効利用の意味が分かる。 ○ クーラーの意味が分かる。 ○ 冷気を保つ方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集合等で教室を空ける際には、電気のスイッチを切ることができる。 ○ 不必要に水を使わないことができる。 ○ クーラーが入っている時は、窓を閉めることができる。 ○ 体調によってクーラーへの対応ができる。
5 意志伝達	(1) 伝言	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝言、連絡の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい伝え方をし、連絡をすることができます。急ぎの伝言は迅速に伝えることができ、メモをして伝えることもできる。
	(2) 報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「できた」「できなかった」等、正しく報告することができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
6 動作の機敏	(1) 機敏性 (2) 時間のけじめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行動の意味が分かる。 ○ 教室移動の際、静かに行動する意味が分かる。 ○ 時間が分かる。 ○ 授業の時間と休み時間の区別が分かる。 ○ 時間を守るということの大切さが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ きびきびした行動ができる。 ○ 廊下を静かに歩くことができる。 ○ 迅速に整列することができる。 ○ 授業の際、教師を静かに待つことができる。 ○ 遅刻をしないよう、常に心がけることができる。
7 正しい交際	(1) 豊かな人間性 (2) 異性との交際 (3) 電話	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人間は一人では生きていけないことが分かる。 ○ 幅広い人間関係は、その人間の生きがいにつながることが分かる。 ○ 豊かな人間関係をつくる為には、協調、進取、自己抑制の気持ちを培养する必要性が分かる。 ○ 弱い者の立場が分かる。 ○ 正しい男女交際の意味が分かる。 ○ 人目を避けた交際は、望ましくないことが分かる。 ○ 電話、手紙などでも交際できることを理解する。 ○ 正しい電話の使い方が分かる。 ○ 「公衆電話」と「家庭用電話」の違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの人と友好関係を結び、視野を広げて、生きがいを見い出すことができる。 ○ 友人をつくることができる。 ○ 友人を大切にすることができます。 ○ 友人の悩み、苦しみを聞き、その解決に共に努力することができる。 ○ 他人の心の痛みを理解することができ、弱い者をいたわることができます。 ○ 人目を避けた交際をしない。 ○ 明るく気持ちいい交際ができる。 ○ 交際の相手を家に知らせ、紹介することができる。 ○ 明るく、建設的なことを話し合うことができる。 ○ 電話の対応ができる。 ○ 相手に応じた話し方ができる。 ○ メモの利用ができる。 ○ 間違い電話をした場合には、素直にあやまることができる。 ○ 手短に話をすることができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(4) 訪問	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他家を訪問する際は、急な用事や招かれた時以外は、行ってはならないことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問の際は、前もって電話をし、用件を告げることができる。 ○ 訪問する時間を聞いたり、伝えることができる。 ○ 訪問の時間を守ることができる。
8 守るべきこと	(1) 飲酒、喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未成年者が飲酒、喫煙してはいけないことが分かる。 ○ タバコが人体に有害であることが分かる。 ○ タバコは吸っている人はもちろん、周りの人の健康をも損ねていることが分かる。 ○ 癌の恐ろしさが理解できる。 ○ タバコの投げ捨てが町の美しさを損ね、火災を引き起こす原因になっていることが分かる。 ○ 酒に酔った人が、普通の人と違う人間になることが分かる。 ○ 酒による傷害、殺人が多いことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未成年者で、しかも生徒なので飲酒、喫煙をしない。 ○ 環境の悪い場所が判別できる。 ○ 友人がタバコを吸ったり、酒を飲もうとしたら注意して、やめさせることができる。
	(2) 無免許運転	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運転免許の意味が分かる。 ○ 無免許運転が法律で禁止されていることが分かる。 ○ 運転免許証がなければ、オートバイや車の運転をしてはいけないことが理解できる。 ○ 事故を起こした時の恐ろしさが分かる。 ○ 無免許運転による死亡事故の多いことが分かる。 ○ 無免許で事故を起こすと、一生みじめな生活をしなければならないことが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無免許でオートバイや車を運転しない。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
9 身体の清潔	(1) 歯磨き、洗面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歯磨き、洗面の必要性が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石鹼や洗顔量の使い方が適切にできる。 ○ 顔や手をきれいに洗える。 ○ 洗面に必要な物の準備ができる。 ○ 洗面用具の片付けができる。 ○ 正しく歯を磨くことができる。 ○ 歯磨きを習慣化することができる。 ○ 歯磨きを適量つける。
	(2) 洗濯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯時の洗剤の適量が分かる。 ○ 素材や色柄物に応じた洗濯の方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯に必要な用具の準備ができる。 ○ 洗濯後の用具の片付けができる。 ○ 洗濯の前に、ポケットの中を確かめることができる。 ○ 下着、靴下、ハンカチの手洗いができる。 ○ 洗濯機の適切な操作ができる。 ○ 乾燥機の適切な操作ができる。
	(3) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所に応じた清掃用具が使える。 ○ 清掃用具の点検と補充ができる。 ○ 決められた場所の清掃ができる。 ○ 隅々まできれいにできる。 ○ 汚れに応じて清掃ができる。 ○ 掃除機の適切な操作ができる。
10 健康・安全	(1) 健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体温計の使い方が分かる。 ○ 健康に留意するとともに、疾病に対して適切な対応の仕方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体調にあわせて検温ができる、健康の目安にことができる。 ○ 自分の体調が分かり、体調に応じて休息することができる。 ○ 薬の服用ができる。 ○ 簡単な家庭医薬品が分かり、体調に応じて使用することができる。 ○ 寒暖に応じた衣類の着方ができる。 ○ 避難時の経路・方法・場所の確認ができる、機敏に行動ができる。 ○ 電気器具のコンセント、スイッチの切り忘れに気をつける。
	(2) 安全管理		
11 食事	(1) 食事の分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の体調に応じて適量が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食べ物をよく噛んで食べる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(2) 食事作法の基本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい食事の仕方が分かる。 ○ 食事時のマナーが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食べ物を口に含まないで会話をする。 ○ 主食と副食を交互食べる。 ○ 食事中、背筋を伸ばして姿勢良く食べることができる。 ○ 食器や箸の持ち方が正しく、使い方も適切にできる。 ○ ナイフ、フォークを正しく使用して食べることができる。 ○ 外食時にマナーよく食事をすることができます。
12 余暇利用	(1) 余暇の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 余暇の利用ができる。 ○ 余暇の利用次第で、日々が充実することが分かる。 ○ 余暇利用の手段として、スポーツ、読書、テレビ、園芸等自分に合ったものが身辺にたくさんあることが分かる。 ○ 余暇の利用が趣味につながることが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間を計画的に運用することができます。 ○ 余暇時間の有効な活用により心身のリフレッシュをはかることができる。 ○ 余暇の中で活用したものの中から、趣味として深めることができるものを見出すことができる。
	(2) 道路の歩き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道を歩く際のマナー、基本が分かる。 ○ 横断歩道のわたり方が分かる。 ○ 人に迷惑、不快感を与えるような歩き方をしてはならないことが分かる。 ○ 道路にガムを投げ捨ててはいけないことが分かる。 ○ 歩きながら飲食物を口にしてはならないことが分かる。 ○ 道路を歩く際には絶えず安全に気を配るという意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路を歩く時は、歩道または道路の右側を歩くことができる。 ○ 信号の判別ができる、それにそって歩くことができる。 ○ 横断歩道を機敏にわたることができます。 ○ 他人の通行を邪魔しない歩き方ができる。 ○ ガムは紙に包み塵箱に捨てることができます。 ○ 歩きながら飲食物を口にしない。 ○ 絶えず車に注意を払いさっさと歩くことができる。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能・態度
	(3) バス利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの正しい乗り方が分かる。 ○ 車中のマナーが分かる。 ○ バスの正しい乗り降りが分かる。 ○ バス賃の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスが完全に停止したことを確かめ、順番に乗ることができる。 ○ 乗車券をとることができる。 ○ 年寄り、身障者、幼児を連れた人に席を譲ることができる。 ○ 他人に迷惑にならない乗り方ができる。 ○ つり銭がいらないようにお金を準備することができる。 ○ 降りる前に「停止」のボタンを押すことができる。 ○ バス賃を支払うことができる。 ○ 安全に心がけ、機敏に降りることができます。 ○ つり銭が必要な際には、前もってつり銭箱を利用することができる。
	(4) 公共施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共物を大切にする意味が分かる。 ○ 公共物、施設をきれいに保つことが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用した物、施設をきれいにすることができます。 ○ ごみの種類の分別がきちんとできる。 ○ ごみを所定の場所にきちんと置くことができる。ごみ箱がなければ、それを持ち帰ることができる。
13 自治活動	(1) 自治活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 舎友会の組織と目的が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 舎友会活動に、目的意識をもって積極的に参加できる。 ○ 舎友会活動で係としての役割をはたすことができる。 ○ 舎友会活動でリーダーシップを取ることができる。 ○ 舎友会活動で計画的に活動することができる。
14 日 課	(1) 日課の意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の生活を計画的、且つ自発的に過ごす意味が分かる。 ○ 日課の流れを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日課を計画的にこなすことができる。 ○ 日課に応じた過ごし方ができる。 ○ 時間に遅れない(行事の集合時間等)。

指導項目	指導内容	基礎的・基本的指導事項	
		知識・理解	技能、態度
	(2) 自己反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の行為行動について、反省するという意味が分かる。 ○ 日記の意味が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間を有効に、計画的に使うことができる。 ○ 一日の行動を振り返って反省ができる。 ○ 一日のできごと、印象深かったこと等が書ける。 ○ 後で読み返して、自分の行動反省し、改めることができる。

基礎的・基本的指導事項

—教育課程編成資料—

平成7年1月27日

発行者 沖縄県立沖縄高等養護学校

校長 宮城弘典

〒904-22 沖縄県具志川市田場1243番地

電話 098-973-1661

印 刷 比嘉興文堂

〒902 沖縄県那覇市寄宮3丁目17番8号

電話 098-832-1595



